【男女共同参画に関する市民意識調査（平成２８年度）抜粋】

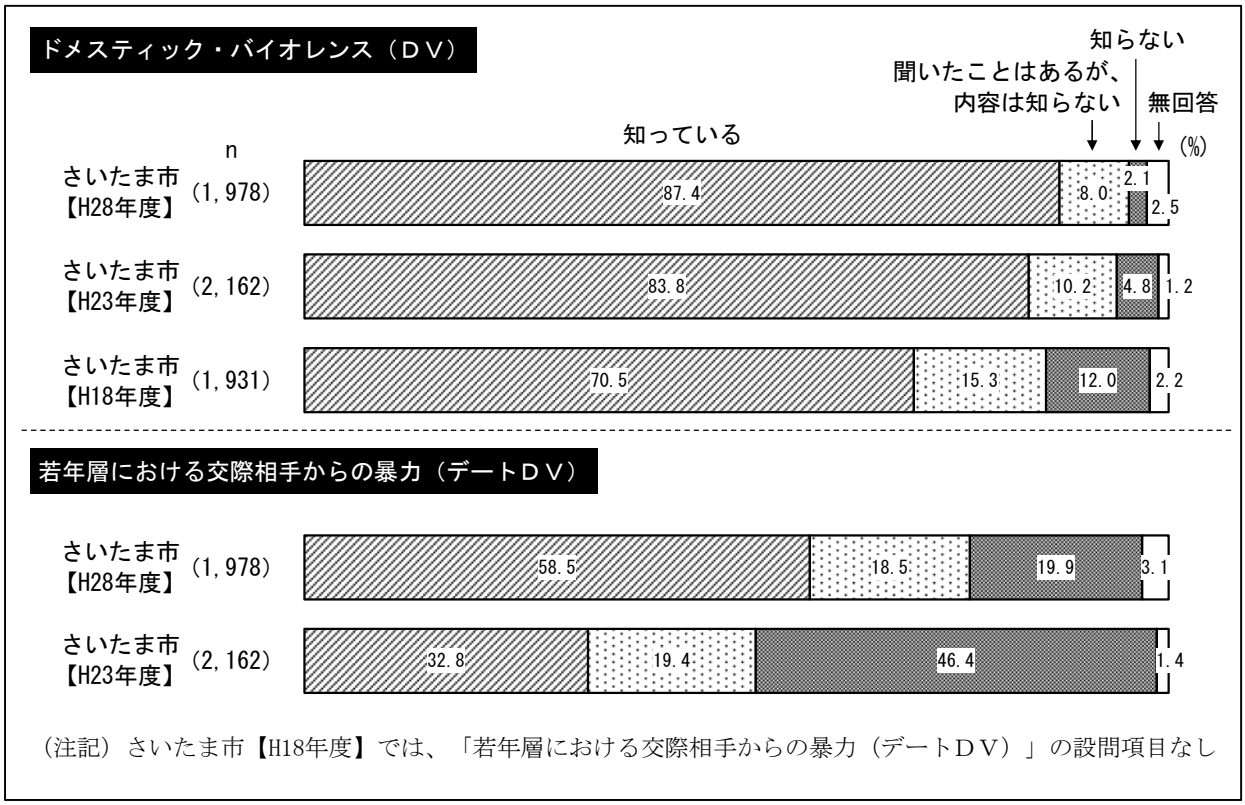
５　配偶者などからの暴力について

※問 20～23 の設問にある「配偶者など」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者のほかに、交際相手（パートナー）も含みます。

（１）暴力に関する言葉の認知度

問 19　あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

（ア、イのそれぞれについて、あてはまる「１～３」に○を１つ）



図表 2-5-1　暴力に関する言葉の認知度

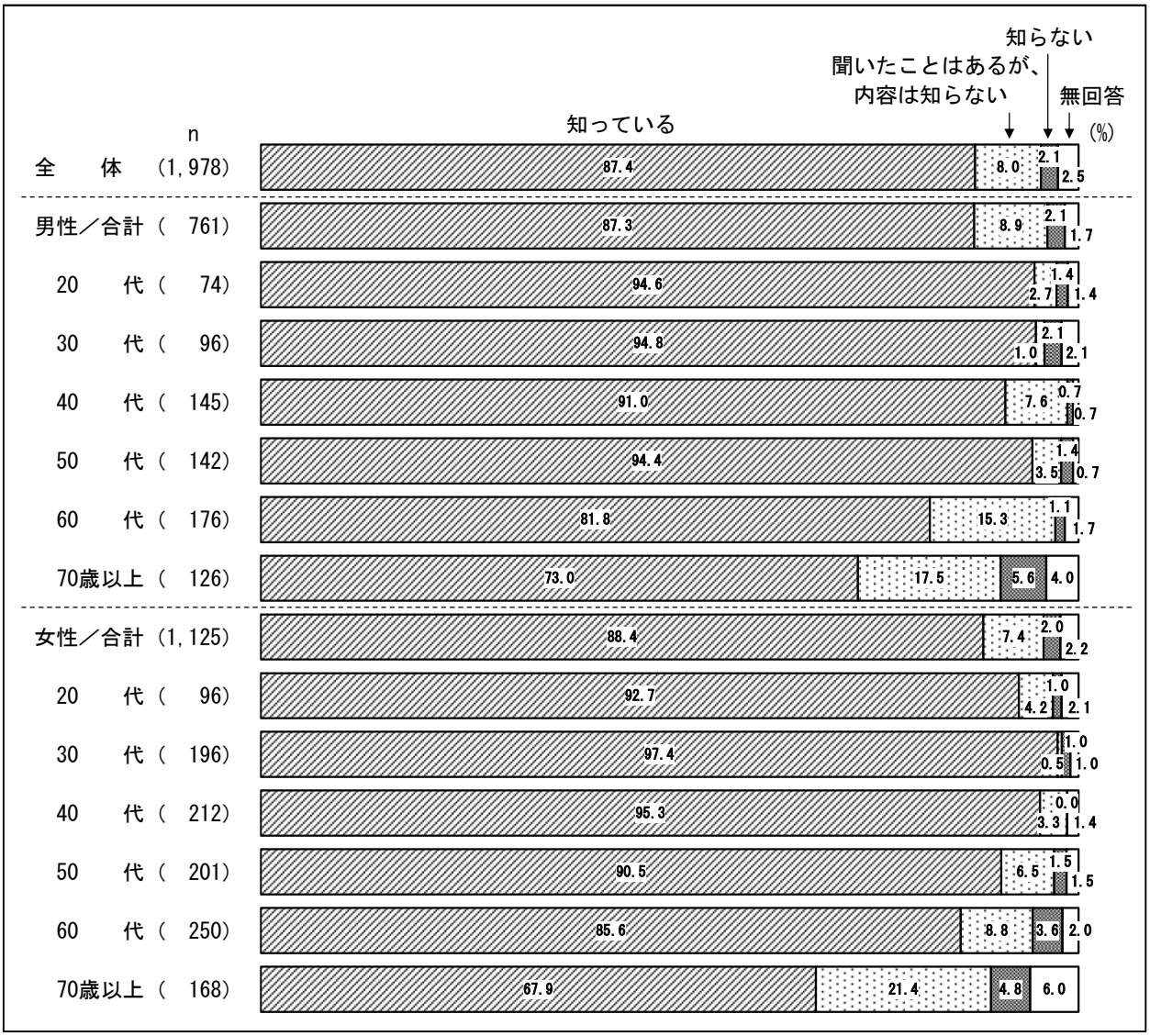
○ 全体の傾向・経年変化

ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）については、「知っている」（87.4%）が８割を超えている。

若年層における交際相手からの暴力（デートＤＶ）については、「知っている」が 58.5%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 18.5%、「知らない」が 19.9%となっている。

平成 23 年度調査結果と比較すると、いずれも「知っている」が増加傾向にあり、特に、若年層における交際相手からの暴力（デートＤＶ）は平成 23 年度に比べ、「知っている」が 20 ポイント以上増加している。

ア．ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）

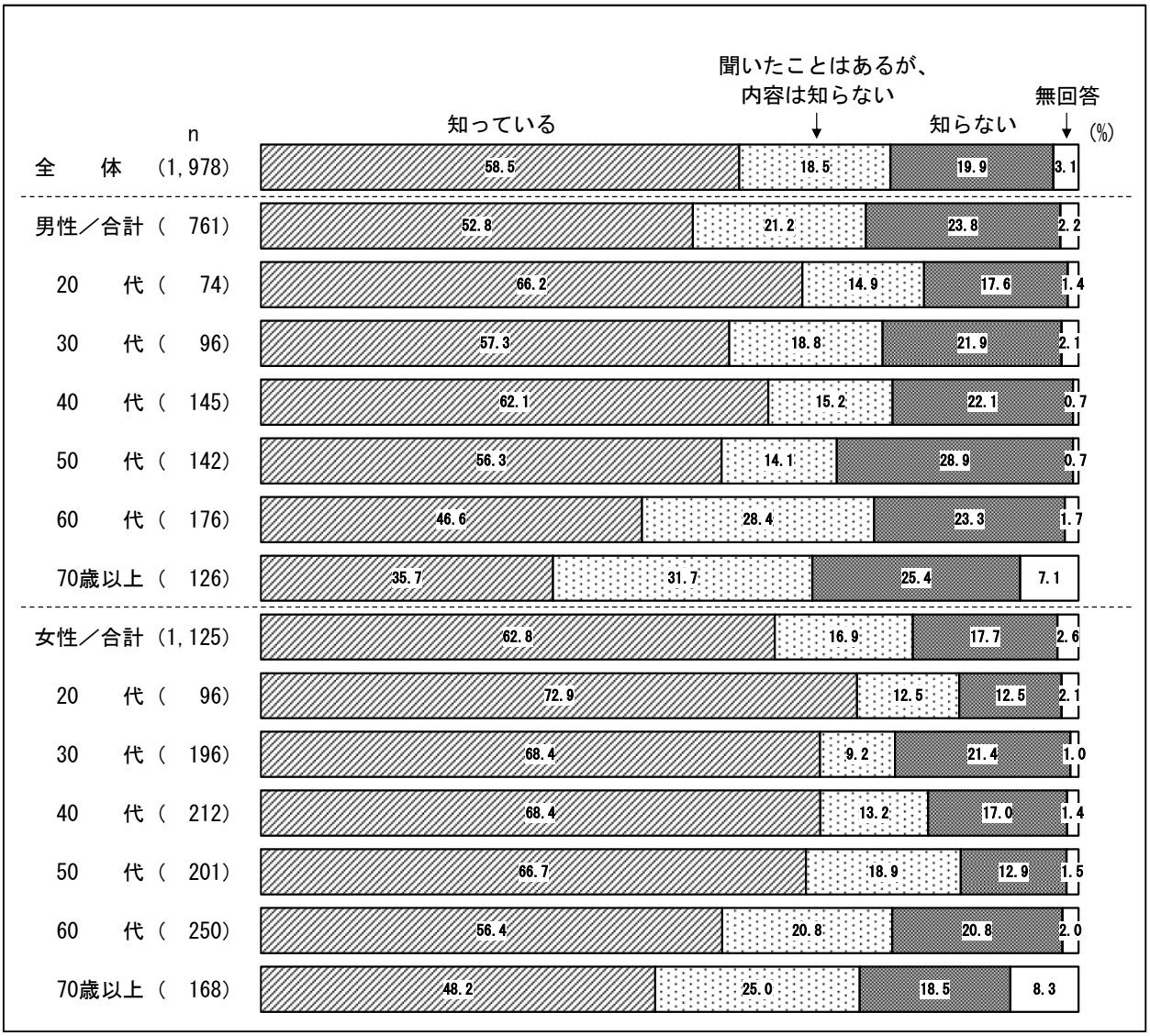


図表 2-5-2 「ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）」という言葉の認知度（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると、男女とも 70 歳以上を除き、「知っている」が８割を超えている。特に、女性 30 代では 97.4%で最も多くなっている。

イ．若年層における交際相手からの暴力（デートＤＶ）



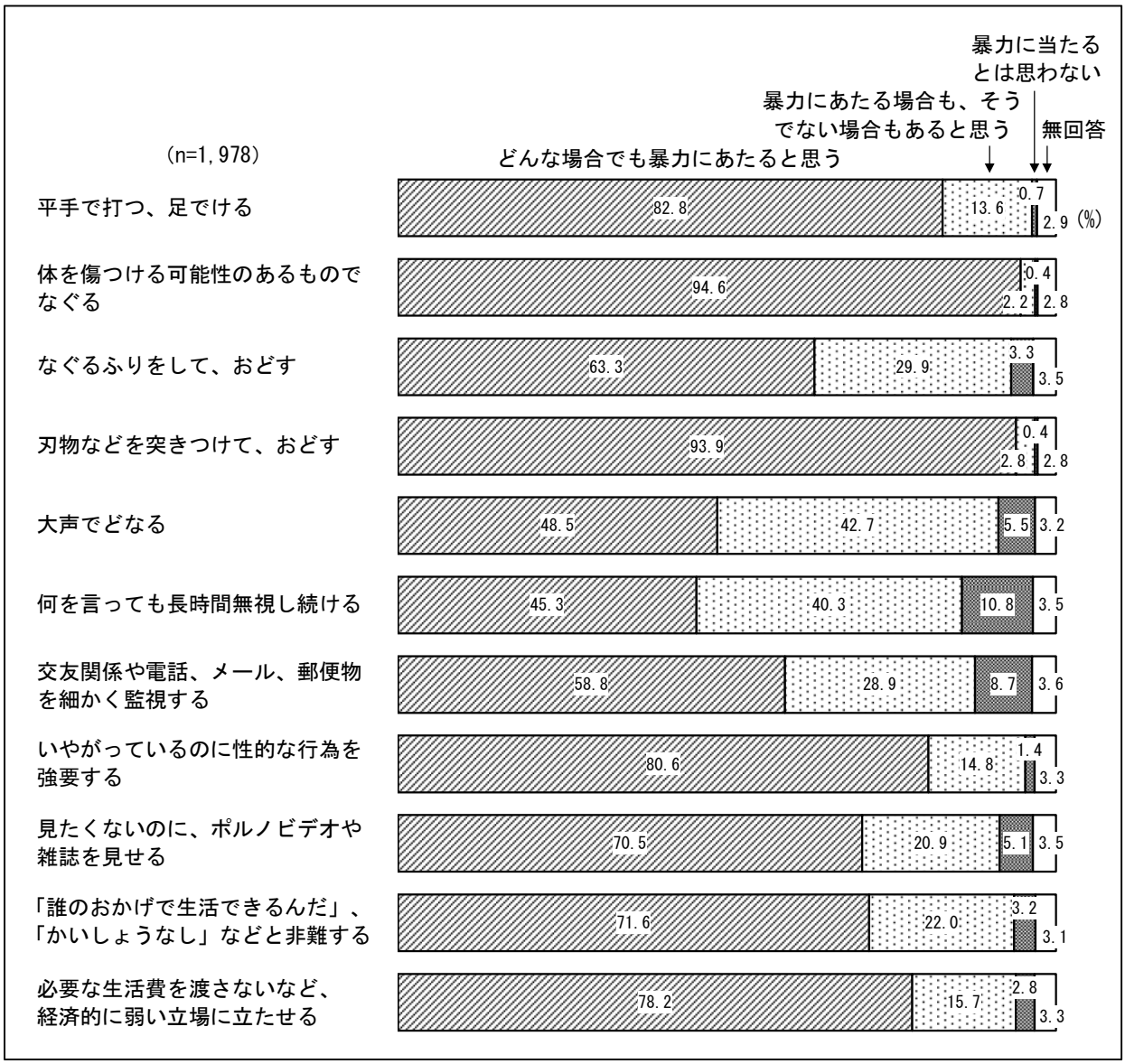
図表 2-5-3 「若年層における交際相手からの暴力（デートＤＶ）」という言葉の認知度
（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると、男女とも年代が上がるにつれ「知っている」割合は減少する傾向にあり、男性 60 歳以上、女性 70 歳以上では半数を下回っている。また、「知らない」は男性 50 代（28.9%）で約３割を占め、最も多くなっている。

（２）暴力として認知される行為

問 20　あなたは、次のようなことが配偶者などの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。**（ア～サのそれぞれについて、あてはまる「１～３」に○を１つ）**



図表 2-5-4　暴力として認知される行為

○ 全体の傾向

配偶者などに対して行われた行為で暴力にあたる行為は、『体を傷つける可能性のあるものでなぐる』、『刃物などを突きつけて、おどす』は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が９割を超え、『平手で打つ、足でける』、『いやがっているのに性的な行為を強要する』、『必要な生活費を渡さないなど、経済的に弱い立場に立たせる』なども約８割を占めている。一方、『大声でどなる』、『何を言っても長時間無視し続ける』は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が半数を下回り、『何を言っても長時間無視し続ける』は「暴力に当たるとは思わない」も１割を超え、他の項目に比べ多くなっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	平手で打つ、足でける				体を傷つける可能性のあるものでなぐる				なぐるふりをして、おどす			
			どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答
全体		1,978	1,637	269	14	58	1,872	43	7	56	1,252	591	66	69
		100.0	82.8	13.6	0.7	2.9	94.6	2.2	0.4	2.8	63.3	29.9	3.3	3.5
性・年代別	男性／合計	761	623	115	5	18	719	22	3	17	464	244	31	22
		100.0	81.9	15.1	0.7	2.4	94.5	2.9	0.4	2.2	61.0	32.1	4.1	2.9
	20代	74	56	15	0	3	68	3	0	3	47	21	3	3
		100.0	75.7	20.3	0.0	4.1	91.9	4.1	0.0	4.1	63.5	28.4	4.1	4.1
	30代	96	67	26	0	3	88	5	0	3	59	29	5	3
		100.0	69.8	27.1	0.0	3.1	91.7	5.2	0.0	3.1	61.5	30.2	5.2	3.1
	40代	145	115	26	3	1	138	5	1	1	96	41	5	3
		100.0	79.3	17.9	2.1	0.7	95.2	3.4	0.7	0.7	66.2	28.3	3.4	2.1
	50代	142	120	20	0	2	136	3	1	2	90	46	4	2
		100.0	84.5	14.1	0.0	1.4	95.8	2.1	0.7	1.4	63.4	32.4	2.8	1.4
	60代	176	160	11	1	4	171	2	0	3	108	63	2	3
		100.0	90.9	6.3	0.6	2.3	97.2	1.1	0.0	1.7	61.4	35.8	1.1	1.7
	70歳以上	126	104	16	1	5	117	3	1	5	63	44	11	8
		100.0	82.5	12.7	0.8	4.0	92.9	2.4	0.8	4.0	50.0	34.9	8.7	6.3
	女性／合計	1,125	943	147	9	26	1,075	21	4	25	735	325	32	33
		100.0	83.8	13.1	0.8	2.3	95.6	1.9	0.4	2.2	65.3	28.9	2.8	2.9
	20代	96	71	18	2	5	92	1	0	3	68	21	4	3
		100.0	74.0	18.8	2.1	5.2	95.8	1.0	0.0	3.1	70.8	21.9	4.2	3.1
	30代	196	148	44	1	3	192	1	0	3	129	60	3	4
		100.0	75.5	22.4	0.5	1.5	98.0	0.5	0.0	1.5	65.8	30.6	1.5	2.0
	40代	212	186	23	0	3	204	4	0	4	155	48	5	4
		100.0	87.7	10.8	0.0	1.4	96.2	1.9	0.0	1.9	73.1	22.6	2.4	1.9
	50代	201	174	24	1	2	194	5	1	1	144	52	4	1
		100.0	86.6	11.9	0.5	1.0	96.5	2.5	0.5	0.5	71.6	25.9	2.0	0.5
	60代	250	223	20	4	3	241	4	1	4	156	81	7	6
		100.0	89.2	8.0	1.6	1.2	96.4	1.6	0.4	1.6	62.4	32.4	2.8	2.4
	70歳以上	168	139	18	1	10	150	6	2	10	82	63	8	15
		100.0	82.7	10.7	0.6	6.0	89.3	3.6	1.2	6.0	48.8	37.5	4.8	8.9

図表 2-5-5　暴力として認知される行為（性・年代別）（その１）

○ 性・年代別の傾向

『平手で打つ、足でける』では、男女ともほとんどの年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が８割を超えている。一方、20～30 代では「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が約２割を占め、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が少なくなっている。

『体を傷つける可能性のあるものでなぐる』では、女性 70 歳以上を除き、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が９割を超えている。

『なぐるふりをして、おどす』では、男性は 70 歳以上を除き、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が約６割、「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」が約３割を占めている。女性は 20 代と 40～50 代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が７割を超えている。一方、70 歳以上では男女とも「どんな場合でも暴力にあたると思う」は約５割となっており、男性 70 歳以上では「暴力に当たるとは思わない」(8.7%) が他の年代に比べ多くなっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	刃物などを突きつけて、おどす				大声でどなる				何を言っても長時間無視し続ける			
			どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答
全体		1,978	1,858	56	8	56	960	845	109	64	897	798	213	70
		100.0	93.9	2.8	0.4	2.8	48.5	42.7	5.5	3.2	45.3	40.3	10.8	3.5
性・年代別	男性／合計	761	716	23	4	18	326	357	57	21	314	328	100	19
		100.0	94.1	3.0	0.5	2.4	42.8	46.9	7.5	2.8	41.3	43.1	13.1	2.5
	20代	74	67	4	0	3	30	37	4	3	30	34	7	3
		100.0	90.5	5.4	0.0	4.1	40.5	50.0	5.4	4.1	40.5	45.9	9.5	4.1
	30代	96	91	2	0	3	41	47	5	3	40	44	9	3
		100.0	94.8	2.1	0.0	3.1	42.7	49.0	5.2	3.1	41.7	45.8	9.4	3.1
	40代	145	139	4	1	1	60	73	11	1	61	61	22	1
		100.0	95.9	2.8	0.7	0.7	41.4	50.3	7.6	0.7	42.1	42.1	15.2	0.7
	50代	142	134	5	1	2	68	62	10	2	61	58	21	2
		100.0	94.4	3.5	0.7	1.4	47.9	43.7	7.0	1.4	43.0	40.8	14.8	1.4
	60代	176	170	2	0	4	85	78	9	4	85	70	17	4
		100.0	96.6	1.1	0.0	2.3	48.3	44.3	5.1	2.3	48.3	39.8	9.7	2.3
	70歳以上	126	114	6	1	5	42	59	17	8	37	60	23	6
		100.0	90.5	4.8	0.8	4.0	33.3	46.8	13.5	6.3	29.4	47.6	18.3	4.8
	女性／合計	1,125	1,063	33	4	25	591	455	51	28	542	441	107	35
		100.0	94.5	2.9	0.4	2.2	52.5	40.4	4.5	2.5	48.2	39.2	9.5	3.1
	20代	96	92	1	0	3	48	42	3	3	45	40	8	3
		100.0	95.8	1.0	0.0	3.1	50.0	43.8	3.1	3.1	46.9	41.7	8.3	3.1
	30代	196	189	4	0	3	96	90	7	3	94	86	13	3
		100.0	96.4	2.0	0.0	1.5	49.0	45.9	3.6	1.5	48.0	43.9	6.6	1.5
	40代	212	206	3	0	3	111	92	6	3	106	82	20	4
		100.0	97.2	1.4	0.0	1.4	52.4	43.4	2.8	1.4	50.0	38.7	9.4	1.9
	50代	201	198	1	1	1	117	79	4	1	111	78	11	1
		100.0	98.5	0.5	0.5	0.5	58.2	39.3	2.0	0.5	55.2	38.8	5.5	0.5
	60代	250	233	12	1	4	143	86	17	4	131	84	28	7
		100.0	93.2	4.8	0.4	1.6	57.2	34.4	6.8	1.6	52.4	33.6	11.2	2.8
	70歳以上	168	143	12	2	11	75	65	14	14	55	69	27	17
		100.0	85.1	7.1	1.2	6.5	44.6	38.7	8.3	8.3	32.7	41.1	16.1	10.1

図表 2-5-6　暴力として認知される行為（性・年代別）（その２）

○ 性・年代別の傾向

『刃物などを突きつけて、おどす』では、女性 70 歳以上を除き、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が９割を超えている。

『大声でどなる』では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は女性（52.5%）が男性（42.8%）を約 10 ポイント上回っている。男女とも 50～60 代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が増加する一方、70 歳以上は全体を下回っている。特に男性 70 歳以上は「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」（46.8%）が「どんな場合でも暴力にあたると思う」（33.3%）を上回り、「暴力に当たるとは思わない」（13.5%）も１割を超えている。

『何を言っても長時間無視し続ける』では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は女性（48.2%）が男性（41.3%）を約７ポイント上回っている。女性 40～60 代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が半数を超える一方、70 歳以上では男女とも約３割にとどまり、「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」を下回っている。また、「暴力に当たるとは思わない」が男性（13.1%）で１割を超えており、男性 70 歳以上（18.3%）では約２割を占めている。

上段：実数　下段：(%)

		n	交友関係や電話、メール、郵便物を細かく監視する				いやがっているのに性的な行為を強要する			
			どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答
全体		1,978	1,163	571	172	72	1,594	292	27	65
		100.0	58.8	28.9	8.7	3.6	80.6	14.8	1.4	3.3
性・年代別	男性／合計	761	425	229	85	22	591	140	9	21
		100.0	55.8	30.1	11.2	2.9	77.7	18.4	1.2	2.8
	20代	74	41	23	7	3	62	7	2	3
		100.0	55.4	31.1	9.5	4.1	83.8	9.5	2.7	4.1
	30代	96	52	29	12	3	77	16	0	3
		100.0	54.2	30.2	12.5	3.1	80.2	16.7	0.0	3.1
	40代	145	74	46	24	1	120	23	0	2
		100.0	51.0	31.7	16.6	0.7	82.8	15.9	0.0	1.4
	50代	142	83	45	12	2	108	29	2	3
		100.0	58.5	31.7	8.5	1.4	76.1	20.4	1.4	2.1
	60代	176	108	48	16	4	142	29	1	4
		100.0	61.4	27.3	9.1	2.3	80.7	16.5	0.6	2.3
	70歳以上	126	66	37	14	9	81	35	4	6
		100.0	52.4	29.4	11.1	7.1	64.3	27.8	3.2	4.8
	女性／合計	1,125	686	323	80	36	938	140	17	30
		100.0	61.0	28.7	7.1	3.2	83.4	12.4	1.5	2.7
	20代	96	54	32	7	3	86	7	0	3
		100.0	56.3	33.3	7.3	3.1	89.6	7.3	0.0	3.1
	30代	196	120	62	11	3	168	24	0	4
		100.0	61.2	31.6	5.6	1.5	85.7	12.2	0.0	2.0
	40代	212	145	50	14	3	189	19	1	3
		100.0	68.4	23.6	6.6	1.4	89.2	9.0	0.5	1.4
	50代	201	133	56	11	1	181	17	2	1
		100.0	66.2	27.9	5.5	0.5	90.0	8.5	1.0	0.5
	60代	250	157	73	14	6	196	43	7	4
		100.0	62.8	29.2	5.6	2.4	78.4	17.2	2.8	1.6
	70歳以上	168	77	48	23	20	116	30	7	15
		100.0	45.8	28.6	13.7	11.9	69.0	17.9	4.2	8.9

図表 2-5-7　暴力として認知される行為（性・年代別）（その３）

○ 性・年代別の傾向

『交友関係や電話、メール、郵便物を細かく監視する』では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は女性（61.0%）が男性（55.8%）を約５ポイント上回っている。男性はすべての年代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が過半数を占めるのに対し、女性は 30～60 代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が６割を超える一方、70 歳以上（45.8%）では半数を下回っている。また、「暴力に当たるとは思わない」は男性 40 代（16.6%）が最も多く、女性 70 歳以上（13.7%）も１割を超えている。

『いやがっているのに性的な行為を強要する』では、男女とも 70 歳以上を除き、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が７割を超え、「暴力に当たるとは思わない」はすべての年代で５%未満となっている。女性 20 代と 40～50 代では「どんな場合でも暴力にあたると思う」が約９割を占める一方、男性 70 歳以上（64.3%）は６割台にとどまっており、「暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う」（27.8%）が他の年代に比べ多くなっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	見たくないのに、ポルノビデオや雑誌を見せる				「誰のおかげで生活できるんだ」、「かいしょうなし」などと非難する				必要な生活費を渡さないなど、経済的に弱い立場に立たせる			
			どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力に当たるとは思わない	無回答
全体		1,978	1,395	413	100	70	1,416	436	64	62	1,546	311	56	65
		100.0	70.5	20.9	5.1	3.5	71.6	22.0	3.2	3.1	78.2	15.7	2.8	3.3
性・年代別	男性／合計	761	521	171	43	26	505	198	37	21	583	133	24	21
		100.0	68.5	22.5	5.7	3.4	66.4	26.0	4.9	2.8	76.6	17.5	3.2	2.8
	20代	74	53	13	5	3	43	25	3	3	57	11	3	3
		100.0	71.6	17.6	6.8	4.1	58.1	33.8	4.1	4.1	77.0	14.9	4.1	4.1
	30代	96	71	19	3	3	68	22	3	3	80	11	2	3
		100.0	74.0	19.8	3.1	3.1	70.8	22.9	3.1	3.1	83.3	11.5	2.1	3.1
	40代	145	105	33	5	2	105	35	4	1	116	26	2	1
		100.0	72.4	22.8	3.4	1.4	72.4	24.1	2.8	0.7	80.0	17.9	1.4	0.7
	50代	142	94	35	10	3	93	40	6	3	107	28	4	3
		100.0	66.2	24.6	7.0	2.1	65.5	28.2	4.2	2.1	75.4	19.7	2.8	2.1
	60代	176	126	39	6	5	124	40	8	4	137	30	5	4
		100.0	71.6	22.2	3.4	2.8	70.5	22.7	4.5	2.3	77.8	17.0	2.8	2.3
	70歳以上	126	71	31	14	10	72	36	12	6	85	27	7	7
		100.0	56.3	24.6	11.1	7.9	57.1	28.6	9.5	4.8	67.5	21.4	5.6	5.6
	女性／合計	1,125	818	224	53	30	853	220	24	28	899	167	29	30
		100.0	72.7	19.9	4.7	2.7	75.8	19.6	2.1	2.5	79.9	14.8	2.6	2.7
	20代	96	69	19	5	3	73	17	3	3	77	15	1	3
		100.0	71.9	19.8	5.2	3.1	76.0	17.7	3.1	3.1	80.2	15.6	1.0	3.1
	30代	196	144	42	7	3	145	46	2	3	168	22	3	3
		100.0	73.5	21.4	3.6	1.5	74.0	23.5	1.0	1.5	85.7	11.2	1.5	1.5
	40代	212	165	37	7	3	165	39	5	3	181	24	4	3
		100.0	77.8	17.5	3.3	1.4	77.8	18.4	2.4	1.4	85.4	11.3	1.9	1.4
	50代	201	166	28	5	2	165	34	1	1	164	32	4	1
		100.0	82.6	13.9	2.5	1.0	82.1	16.9	0.5	0.5	81.6	15.9	2.0	0.5
	60代	250	174	56	15	5	193	47	5	5	205	34	6	5
		100.0	69.6	22.4	6.0	2.0	77.2	18.8	2.0	2.0	82.0	13.6	2.4	2.0
	70歳以上	168	99	41	14	14	112	35	8	13	102	40	11	15
		100.0	58.9	24.4	8.3	8.3	66.7	20.8	4.8	7.7	60.7	23.8	6.5	8.9

図表 2-5-8　暴力として認知される行為（性・年代別）（その４）

○ 性・年代別の傾向

『見たくないのに、ポルノビデオや雑誌を見せる』では、男性 20～40 代と 60 代、女性 20～50 代で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が７割を超え、女性 50 代では約８割を占めている。一方、男女とも 70 歳以上は「どんな場合でも暴力にあたると思う」が５割台にとどまっており、男性 70 歳以上では「暴力に当たるとは思わない」（11.1%）が１割を超えている。

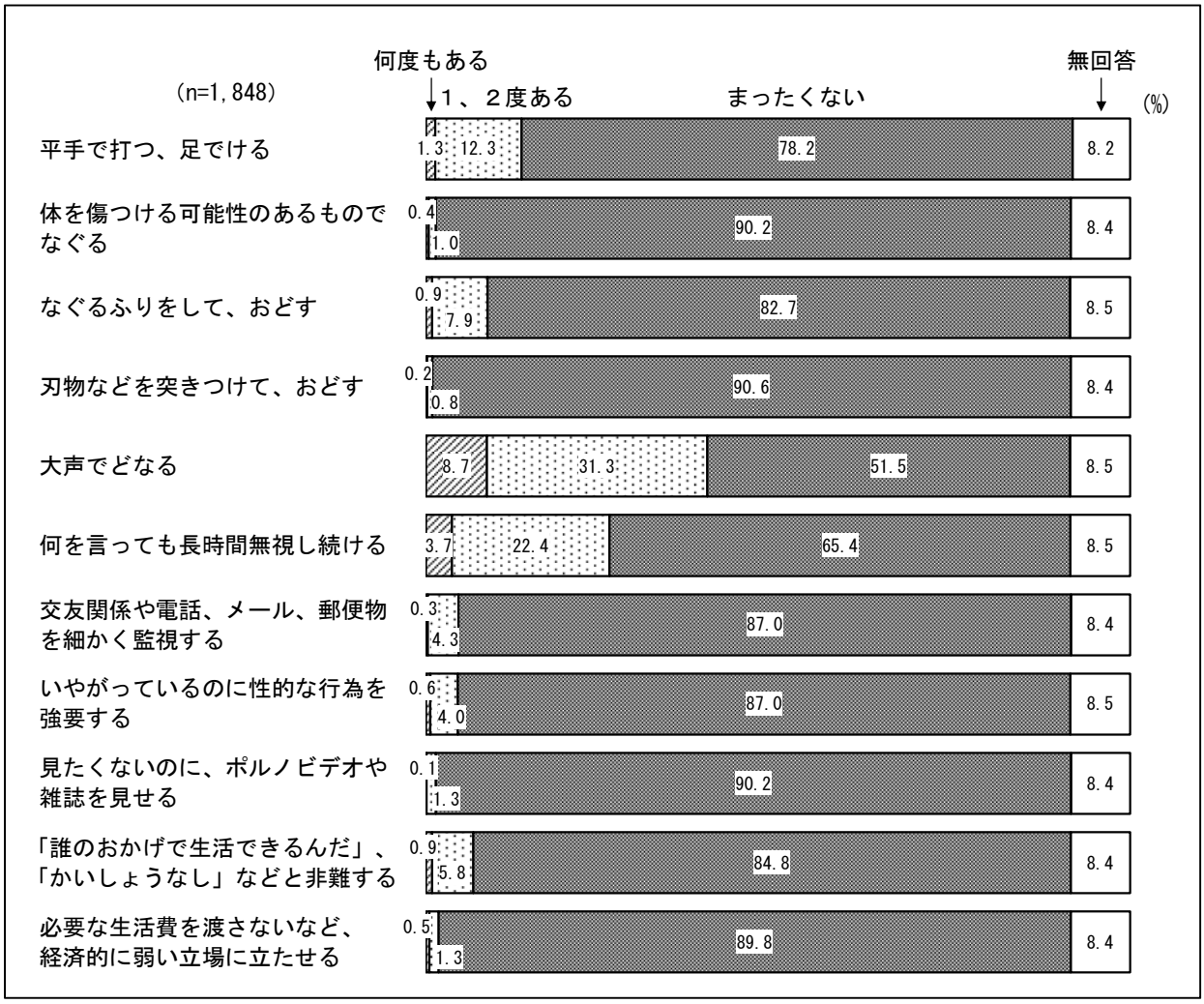
『「誰のおかげで生活できるんだ」、「かいしょうなし」などと非難する』では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は女性（75.8%）が男性（66.4%）を約９ポイント上回っている。女性が 70 歳以上を除き「どんな場合でも暴力にあたると思う」が７割を超えるのに対し、男性 20 代と 70 歳以上は６割を下回っている。

『必要な生活費を渡さないなど、経済的に弱い立場に立たせる』では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は 70 歳以上を除き、男性の７割以上、女性の８割以上を占めている。70 歳以上では男女とも「どんな場合でも暴力にあたると思う」が６割台となっているが、「暴力に当たるとは思わない」はすべての年代で１割未満となっている。

（３）配偶者などへの加害行為

※これまで、配偶者などがいたことがある方への設問

問 21　あなたは、これまでに、あなたの配偶者などに対して次のような行為をしたことがありますか。**（ア～サのそれぞれについて、あてはまる「１～３」に○を１つ）**



図表 2-5-9　配偶者などへの加害行為

○ 全体の傾向

配偶者などに対して行った行為（11 項目）について聞いたところ、９項目で「まったくない」が約８割以上を占めている。一方、『大声でどなる』は「何度もある」（8.7%）と「１、２度ある」（31.3%）の合計が４割を占め、『何を言っても長時間無視し続ける』は「何度もある」（3.7%）と「１、２度ある」（22.4%）の合計は約３割となっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	平手で打つ、足でける				体を傷つける可能性のあるものでなぐる				なぐるふりをして、おどす			
			何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答
全体		1,848	24	227	1,446	151	7	19	1,666	156	16	146	1,528	158
		100.0	1.3	12.3	78.2	8.2	0.4	1.0	90.2	8.4	0.9	7.9	82.7	8.5
性・年代別	男性／合計	694	12	101	529	52	4	9	627	54	10	91	538	55
		100.0	1.7	14.6	76.2	7.5	0.6	1.3	90.3	7.8	1.4	13.1	77.5	7.9
	20代	45	1	0	31	13	0	0	32	13	1	1	30	13
		100.0	2.2	0.0	68.9	28.9	0.0	0.0	71.1	28.9	2.2	2.2	66.7	28.9
	30代	86	2	8	66	10	1	1	74	10	2	8	66	10
		100.0	2.3	9.3	76.7	11.6	1.2	1.2	86.0	11.6	2.3	9.3	76.7	11.6
	40代	133	0	15	107	11	0	0	122	11	0	16	106	11
		100.0	0.0	11.3	80.5	8.3	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	12.0	79.7	8.3
	50代	135	2	21	109	3	1	1	129	4	4	19	109	3
		100.0	1.5	15.6	80.7	2.2	0.7	0.7	95.6	3.0	3.0	14.1	80.7	2.2
	60代	170	3	27	132	8	1	2	159	8	2	21	140	7
		100.0	1.8	15.9	77.6	4.7	0.6	1.2	93.5	4.7	1.2	12.4	82.4	4.1
	70歳以上	123	4	30	83	6	1	5	110	7	1	25	87	10
		100.0	3.3	24.4	67.5	4.9	0.8	4.1	89.4	5.7	0.8	20.3	70.7	8.1
	女性／合計	1,064	10	116	854	84	3	9	966	86	5	45	927	87
		100.0	0.9	10.9	80.3	7.9	0.3	0.8	90.8	8.1	0.5	4.2	87.1	8.2
	20代	71	0	11	39	21	1	0	49	21	0	0	50	21
		100.0	0.0	15.5	54.9	29.6	1.4	0.0	69.0	29.6	0.0	0.0	70.4	29.6
	30代	183	5	24	145	9	0	2	172	9	2	7	165	9
		100.0	2.7	13.1	79.2	4.9	0.0	1.1	94.0	4.9	1.1	3.8	90.2	4.9
	40代	203	2	26	160	15	0	3	185	15	1	4	183	15
		100.0	1.0	12.8	78.8	7.4	0.0	1.5	91.1	7.4	0.5	2.0	90.1	7.4
	50代	195	2	16	172	5	1	3	187	4	1	10	180	4
		100.0	1.0	8.2	88.2	2.6	0.5	1.5	95.9	2.1	0.5	5.1	92.3	2.1
	60代	244	0	23	210	11	0	1	229	14	0	13	217	14
		100.0	0.0	9.4	86.1	4.5	0.0	0.4	93.9	5.7	0.0	5.3	88.9	5.7
	70歳以上	166	1	16	126	23	1	0	142	23	1	11	130	24
		100.0	0.6	9.6	75.9	13.9	0.6	0.0	85.5	13.9	0.6	6.6	78.3	14.5

図表 2-5-10　配偶者などへの加害行為（性・年代別）（その１）

○ 性・年代別の傾向

『平手で打つ、足でける』では、男性は年代が上がるにつれ「１、２度ある」が増加する傾向にあり、70 歳以上（24.4%）では２割を超えている。一方、女性は若い年代ほど「１、２度ある」が多く、20～40 代で１割以上となっている。

『体を傷つける可能性のあるものでなぐる』では、男女とも 20 代を除き、「まったくない」が８割以上を占めている。

『なぐるふりをして、おどす』では、男性は年代が上がるにつれ「１、２度ある」が増加する傾向にあり、70 歳以上（20.3%）では２割を超えている。一方、女性は 30～60 代で「まったくない」が約９割を占め、「何度もある」「１、２度ある」は１割未満となっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	刃物などを突きつけて、おどす				大声でどなる				何を言っても長時間無視し続ける			
			何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答
全体		1,848	3	14	1,675	156	160	578	952	158	68	414	1,209	157
		100.0	0.2	0.8	90.6	8.4	8.7	31.3	51.5	8.5	3.7	22.4	65.4	8.5
性・年代別	男性／合計	694	1	6	635	52	79	285	276	54	26	176	438	54
		100.0	0.1	0.9	91.5	7.5	11.4	41.1	39.8	7.8	3.7	25.4	63.1	7.8
	20代	45	0	0	32	13	2	5	25	13	1	2	29	13
		100.0	0.0	0.0	71.1	28.9	4.4	11.1	55.6	28.9	2.2	4.4	64.4	28.9
	30代	86	1	1	74	10	7	23	46	10	4	13	59	10
		100.0	1.2	1.2	86.0	11.6	8.1	26.7	53.5	11.6	4.7	15.1	68.6	11.6
	40代	133	0	2	120	11	15	46	60	12	4	26	90	13
		100.0	0.0	1.5	90.2	8.3	11.3	34.6	45.1	9.0	3.0	19.5	67.7	9.8
	50代	135	0	2	130	3	19	69	44	3	2	41	89	3
		100.0	0.0	1.5	96.3	2.2	14.1	51.1	32.6	2.2	1.5	30.4	65.9	2.2
	60代	170	0	0	163	7	16	86	61	7	9	51	103	7
		100.0	0.0	0.0	95.9	4.1	9.4	50.6	35.9	4.1	5.3	30.0	60.6	4.1
	70歳以上	123	0	1	115	7	20	56	39	8	6	43	67	7
		100.0	0.0	0.8	93.5	5.7	16.3	45.5	31.7	6.5	4.9	35.0	54.5	5.7
	女性／合計	1,064	2	7	967	88	72	266	638	88	39	223	715	87
		100.0	0.2	0.7	90.9	8.3	6.8	25.0	60.0	8.3	3.7	21.0	67.2	8.2
	20代	71	0	0	50	21	2	13	35	21	4	6	40	21
		100.0	0.0	0.0	70.4	29.6	2.8	18.3	49.3	29.6	5.6	8.5	56.3	29.6
	30代	183	0	2	172	9	16	50	108	9	4	34	135	10
		100.0	0.0	1.1	94.0	4.9	8.7	27.3	59.0	4.9	2.2	18.6	73.8	5.5
	40代	203	0	0	188	15	20	41	127	15	6	42	140	15
		100.0	0.0	0.0	92.6	7.4	9.9	20.2	62.6	7.4	3.0	20.7	69.0	7.4
	50代	195	1	1	189	4	17	48	124	6	11	38	142	4
		100.0	0.5	0.5	96.9	2.1	8.7	24.6	63.6	3.1	5.6	19.5	72.8	2.1
	60代	244	1	2	226	15	7	67	156	14	6	60	163	15
		100.0	0.4	0.8	92.6	6.1	2.9	27.5	63.9	5.7	2.5	24.6	66.8	6.1
	70歳以上	166	0	2	140	24	10	47	86	23	8	42	94	22
		100.0	0.0	1.2	84.3	14.5	6.0	28.3	51.8	13.9	4.8	25.3	56.6	13.3

図表 2-5-11　配偶者などへの加害行為（性・年代別）（その２）

○ 性・年代別の傾向

『刃物などを突きつけて、おどす』では、男女とも 20 代を除き、「まったくない」が８割以上を占めている。

『大声でどなる』では、男性は年代が上がるにつれ「１、２度ある」が増加する傾向にあり、50～60 代で５割を超えている。また、「何度もある」は男性 70 歳以上（16.3%）で最も多くなっている。一方、女性は、ほとんどの年代で「まったくない」が過半数を占めており、「１、２度ある」は２割台にとどまっている。

『何を言っても長時間無視し続ける』では、男女とも年代が上がるにつれ「１、２度ある」が増加する傾向にあり、男性 50 歳以上では３割を超えている。

上段：実数　下段：(%)

		n	交友関係や電話、メール、郵便物を細かく監視する				いやがっているのに性的な行為を強要する			
			何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答
全体		1,848 100.0	5 0.3	80 4.3	1,608 87.0	155 8.4	11 0.6	73 4.0	1,607 87.0	157 8.5
性・年代別	男性／合計	694 100.0	1 0.1	22 3.2	618 89.0	53 7.6	6 0.9	55 7.9	580 83.6	53 7.6
	20代	45 100.0	0 0.0	2 4.4	30 66.7	13 28.9	0 0.0	1 2.2	31 68.9	13 28.9
	30代	86 100.0	0 0.0	2 2.3	74 86.0	10 11.6	0 0.0	2 2.3	74 86.0	10 11.6
	40代	133 100.0	0 0.0	4 3.0	118 88.7	11 8.3	3 2.3	8 6.0	111 83.5	11 8.3
	50代	135 100.0	0 0.0	5 3.7	127 94.1	3 2.2	0 0.0	12 8.9	120 88.9	3 2.2
	60代	170 100.0	0 0.0	5 2.9	158 92.9	7 4.1	1 0.6	15 8.8	147 86.5	7 4.1
	70歳以上	123 100.0	1 0.8	4 3.3	110 89.4	8 6.5	2 1.6	17 13.8	96 78.0	8 6.5
	女性／合計	1,064 100.0	3 0.3	56 5.3	919 86.4	86 8.1	5 0.5	12 1.1	959 90.1	88 8.3
	20代	71 100.0	0 0.0	4 5.6	46 64.8	21 29.6	0 0.0	0 0.0	50 70.4	21 29.6
	30代	183 100.0	0 0.0	10 5.5	164 89.6	9 4.9	0 0.0	0 0.0	174 95.1	9 4.9
	40代	203 100.0	0 0.0	10 4.9	178 87.7	15 7.4	0 0.0	0 0.0	188 92.6	15 7.4
	50代	195 100.0	2 1.0	10 5.1	179 91.8	4 2.1	1 0.5	2 1.0	188 96.4	4 2.1
	60代	244 100.0	0 0.0	13 5.3	217 88.9	14 5.7	1 0.4	5 2.0	224 91.8	14 5.7
	70歳以上	166 100.0	1 0.6	9 5.4	133 80.1	23 13.9	3 1.8	5 3.0	133 80.1	25 15.1

図表 2-5-12　配偶者などへの加害行為（性・年代別）（その３）

○ 性・年代別の傾向

『交友関係や電話、メール、郵便物を細かく監視する』では、男女とも 20 代を除き、「まったくない」が８割以上を占めている。「１、２度ある」は女性がすべての年代で約５%を占めている。

『いやがっているのに性的な行為を強要する』では、女性は「まったくない」（90.1%）が９割を超え、「何度もある」「１、２度ある」はすべての年代で３%以下となっている。男性は「まったくない」（83.6%）が８割を超える一方、年代が上がるにつれ「１、２度ある」が増加する傾向にあり、70 歳以上（13.8%）では１割を超えている。

上段：実数　下段：(%)

		n	見たくないのに、ポルノビデオや雑誌を見せる				「誰のおかげで生活できるんだ」、「かいしょうなし」などと非難する				必要な生活費を渡さないなど、経済的に弱い立場に立たせる			
			何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答
全体		1,848	2	24	1,667	155	16	108	1,568	156	9	24	1,659	156
		100.0	0.1	1.3	90.2	8.4	0.9	5.8	84.8	8.4	0.5	1.3	89.8	8.4
性・年代別	男性／合計	694	0	20	622	52	10	66	565	53	3	16	622	53
		100.0	0.0	2.9	89.6	7.5	1.4	9.5	81.4	7.6	0.4	2.3	89.6	7.6
	20代	45	0	2	30	13	0	2	30	13	0	0	32	13
		100.0	0.0	4.4	66.7	28.9	0.0	4.4	66.7	28.9	0.0	0.0	71.1	28.9
	30代	86	0	3	73	10	2	1	73	10	0	0	76	10
		100.0	0.0	3.5	84.9	11.6	2.3	1.2	84.9	11.6	0.0	0.0	88.4	11.6
	40代	133	0	3	119	11	2	10	110	11	2	3	117	11
		100.0	0.0	2.3	89.5	8.3	1.5	7.5	82.7	8.3	1.5	2.3	88.0	8.3
	50代	135	0	4	128	3	3	21	108	3	1	0	131	3
		100.0	0.0	3.0	94.8	2.2	2.2	15.6	80.0	2.2	0.7	0.0	97.0	2.2
	60代	170	0	5	158	7	1	18	144	7	0	9	154	7
		100.0	0.0	2.9	92.9	4.1	0.6	10.6	84.7	4.1	0.0	5.3	90.6	4.1
	70歳以上	123	0	3	113	7	2	14	99	8	0	4	111	8
		100.0	0.0	2.4	91.9	5.7	1.6	11.4	80.5	6.5	0.0	3.3	90.2	6.5
	女性／合計	1,064	2	4	971	87	4	35	938	87	5	6	966	87
		100.0	0.2	0.4	91.3	8.2	0.4	3.3	88.2	8.2	0.5	0.6	90.8	8.2
	20代	71	0	0	50	21	0	2	48	21	0	1	49	21
		100.0	0.0	0.0	70.4	29.6	0.0	2.8	67.6	29.6	0.0	1.4	69.0	29.6
	30代	183	0	0	173	10	2	5	166	10	0	0	173	10
		100.0	0.0	0.0	94.5	5.5	1.1	2.7	90.7	5.5	0.0	0.0	94.5	5.5
	40代	203	0	0	187	16	0	8	181	14	1	1	187	14
		100.0	0.0	0.0	92.1	7.9	0.0	3.9	89.2	6.9	0.5	0.5	92.1	6.9
	50代	195	1	1	189	4	2	4	185	4	1	0	190	4
		100.0	0.5	0.5	96.9	2.1	1.0	2.1	94.9	2.1	0.5	0.0	97.4	2.1
	60代	244	0	1	229	14	0	7	222	15	2	1	227	14
		100.0	0.0	0.4	93.9	5.7	0.0	2.9	91.0	6.1	0.8	0.4	93.0	5.7
	70歳以上	166	1	2	141	22	0	9	134	23	1	3	138	24
		100.0	0.6	1.2	84.9	13.3	0.0	5.4	80.7	13.9	0.6	1.8	83.1	14.5

図表 2-5-13　配偶者などへの加害行為（性・年代別）（その４）

○ 性・年代別の傾向

『見たくないのに、ポルノビデオや雑誌を見せる』では、男女とも 20 代を除き、「まったくない」が８割以上を占めている。

『「誰のおかげで生活できるんだ」、「かいしょうなし」などと非難する』では、男女とも 20 代を除き、「まったくない」が８割以上を占めている。「１、２度ある」は男性 50 歳以上で１割を超えている。

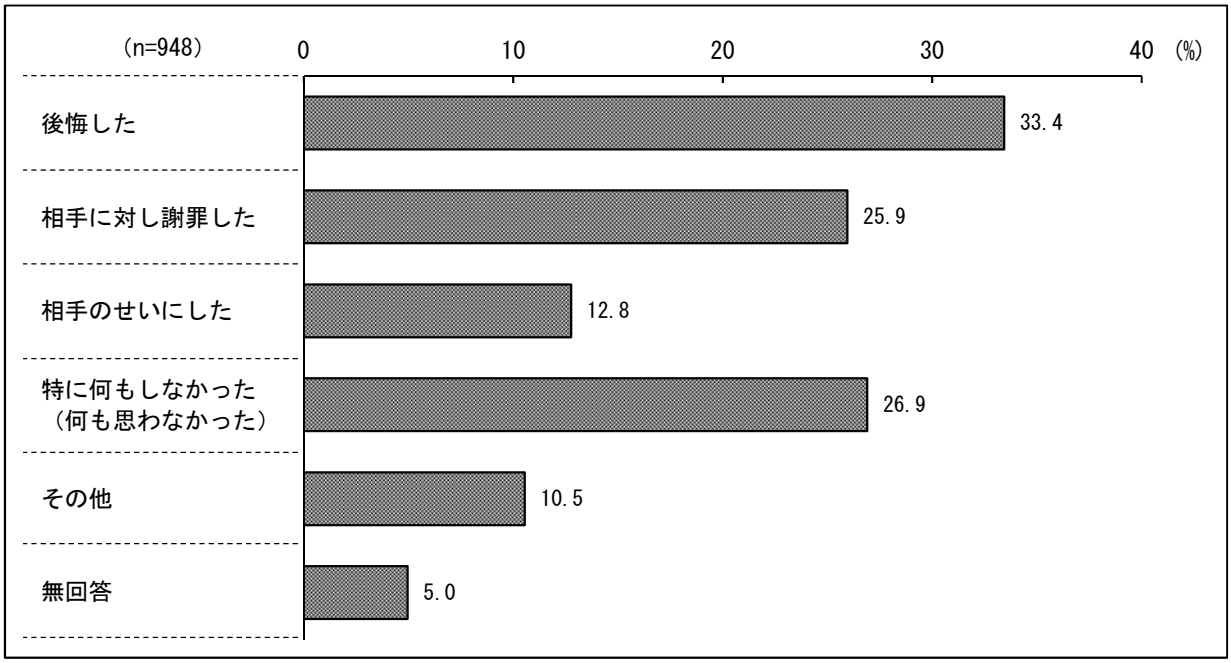
『必要な生活費を渡さないなど、経済的に弱い立場に立たせる』では、男女とも 20 代を除き、「まったくない」が８割以上を占めている。

（４）問 21 の各行為を行った後の行動

※問 21 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。

問 21－１　あなたは、問 21 のような行為をしたことについて、どうしましたか。

（○はいくつでも）



図表 2-5-14　問 21 の各行為を行った後の行動

○ 全体の傾向

問 21 の各行為を行った後の行動は、「後悔した」(33.4%) が最も多く、次いで「特に何もしなかった（何も思わなかった)」(26.9%)、「相手に対し謝罪した」(25.9%) などの順となっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	後悔した	相手に対し謝罪した	相手のせいにした	特に何もしなかった（何も思わなかった）	その他	無回答
全体		948 100.0	317 33.4	246 25.9	121 12.8	255 26.9	100 10.5	47 5.0
性・年代別	男性／合計	417 100.0	176 42.2	125 30.0	32 7.7	110 26.4	34 8.2	12 2.9
	20代	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	30代	38 100.0	10 26.3	14 36.8	1 2.6	13 34.2	5 13.2	0 0.0
	40代	70 100.0	28 40.0	23 32.9	9 12.9	18 25.7	6 8.6	0 0.0
	50代	94 100.0	45 47.9	35 37.2	7 7.4	20 21.3	6 6.4	1 1.1
	60代	117 100.0	55 47.0	32 27.4	7 6.0	27 23.1	7 6.0	6 5.1
	70歳以上	89 100.0	34 38.2	16 18.0	7 7.9	31 34.8	10 11.2	5 5.6
	女性／合計	485 100.0	123 25.4	110 22.7	81 16.7	135 27.8	62 12.8	32 6.6
	20代	24 100.0	4 16.7	11 45.8	5 20.8	5 20.8	4 16.7	0 0.0
	30代	92 100.0	20 21.7	40 43.5	13 14.1	24 26.1	12 13.0	2 2.2
	40代	89 100.0	21 23.6	20 22.5	15 16.9	33 37.1	11 12.4	1 1.1
	50代	85 100.0	22 25.9	20 23.5	15 17.6	16 18.8	13 15.3	7 8.2
	60代	112 100.0	40 35.7	11 9.8	23 20.5	25 22.3	10 8.9	12 10.7
	70歳以上	82 100.0	16 19.5	7 8.5	10 12.2	32 39.0	12 14.6	10 12.2

図表 2-5-15　問 21 の各行為を行った後の行動（性・年代別）

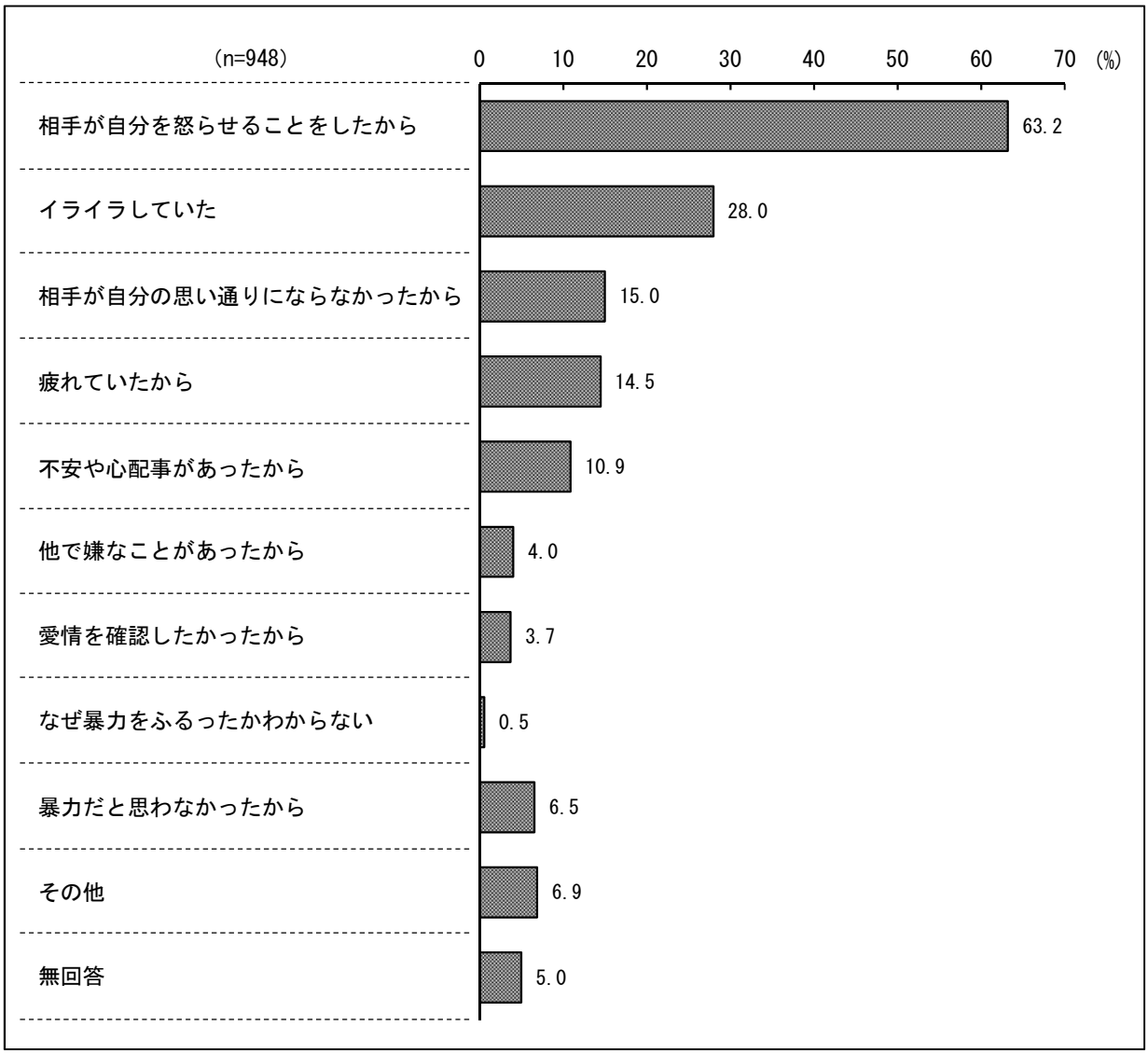
○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると、「後悔した」は男性（42.2%）が女性（25.4%）を約 17 ポイント上回っている。「相手に対し謝罪した」も男性（30.0%）が女性（22.7%）を上回る一方、「相手のせいにした」は女性（16.7%）の方が男性（7.7%）より多くなっている。また、「特に何もしなかった（何も思わなかった）」は男女とも２割台となっている。

（５）問 21 の各行為を行った理由

※問 21 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。

問 21－２　あなたは、問 21 のような行為を行ったのはなぜですか。**（○はいくつでも）**



図表 2-5-16　問 21 の各行為を行った理由

○ 全体の傾向

問 21 の各行為を行った理由は、「相手が自分を怒らせることをしたから」(63.2%) が過半数を占め、次いで「イライラしていた」(28.0%)、「相手が自分の思い通りにならなかったから」(15.0%) などの順となっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	相手が自分を怒らせることをしたから	イライラしていた	相手が自分の思い通りにならなかったから	疲れていたから	不安や心配事があったから	他で嫌なことがあったから	愛情を確認したかったから	なぜ暴力をふるったかわからない	暴力だと思わなかったから	その他	無回答
全体		948	599	265	142	137	103	38	35	5	62	65	47
		100.0	63.2	28.0	15.0	14.5	10.9	4.0	3.7	0.5	6.5	6.9	5.0
性・年代別	男性／合計	417	266	132	82	64	34	29	16	4	30	18	15
		100.0	63.8	31.7	19.7	15.3	8.2	7.0	3.8	1.0	7.2	4.3	3.6
	20代	8	5	3	1	2	2	1	0	0	1	1	0
		100.0	62.5	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
	30代	38	21	17	7	5	3	2	1	1	2	3	0
		100.0	55.3	44.7	18.4	13.2	7.9	5.3	2.6	2.6	5.3	7.9	0.0
	40代	70	48	21	8	12	4	6	6	0	6	3	0
		100.0	68.6	30.0	11.4	17.1	5.7	8.6	8.6	0.0	8.6	4.3	0.0
	50代	94	69	32	13	17	8	7	2	1	4	3	1
		100.0	73.4	34.0	13.8	18.1	8.5	7.4	2.1	1.1	4.3	3.2	1.1
	60代	117	78	33	27	14	8	3	3	0	6	2	7
		100.0	66.7	28.2	23.1	12.0	6.8	2.6	2.6	0.0	5.1	1.7	6.0
	70歳以上	89	44	26	26	13	9	9	4	2	11	6	7
		100.0	49.4	29.2	29.2	14.6	10.1	10.1	4.5	2.2	12.4	6.7	7.9
	女性／合計	485	308	122	51	69	65	9	17	0	30	42	28
		100.0	63.5	25.2	10.5	14.2	13.4	1.9	3.5	0.0	6.2	8.7	5.8
	20代	24	16	7	5	6	4	0	0	0	2	2	0
		100.0	66.7	29.2	20.8	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
	30代	92	67	30	8	14	16	0	9	0	4	9	1
		100.0	72.8	32.6	8.7	15.2	17.4	0.0	9.8	0.0	4.3	9.8	1.1
	40代	89	62	22	13	14	9	2	1	0	6	8	1
		100.0	69.7	24.7	14.6	15.7	10.1	2.2	1.1	0.0	6.7	9.0	1.1
	50代	85	55	18	7	16	13	2	2	0	6	9	4
		100.0	64.7	21.2	8.2	18.8	15.3	2.4	2.4	0.0	7.1	10.6	4.7
	60代	112	67	26	10	10	15	2	4	0	8	7	11
		100.0	59.8	23.2	8.9	8.9	13.4	1.8	3.6	0.0	7.1	6.3	9.8
	70歳以上	82	40	19	8	9	8	3	1	0	4	7	11
		100.0	48.8	23.2	9.8	11.0	9.8	3.7	1.2	0.0	4.9	8.5	13.4

図表 2-5-17　問 21 の各行為を行った理由（性・年代別）

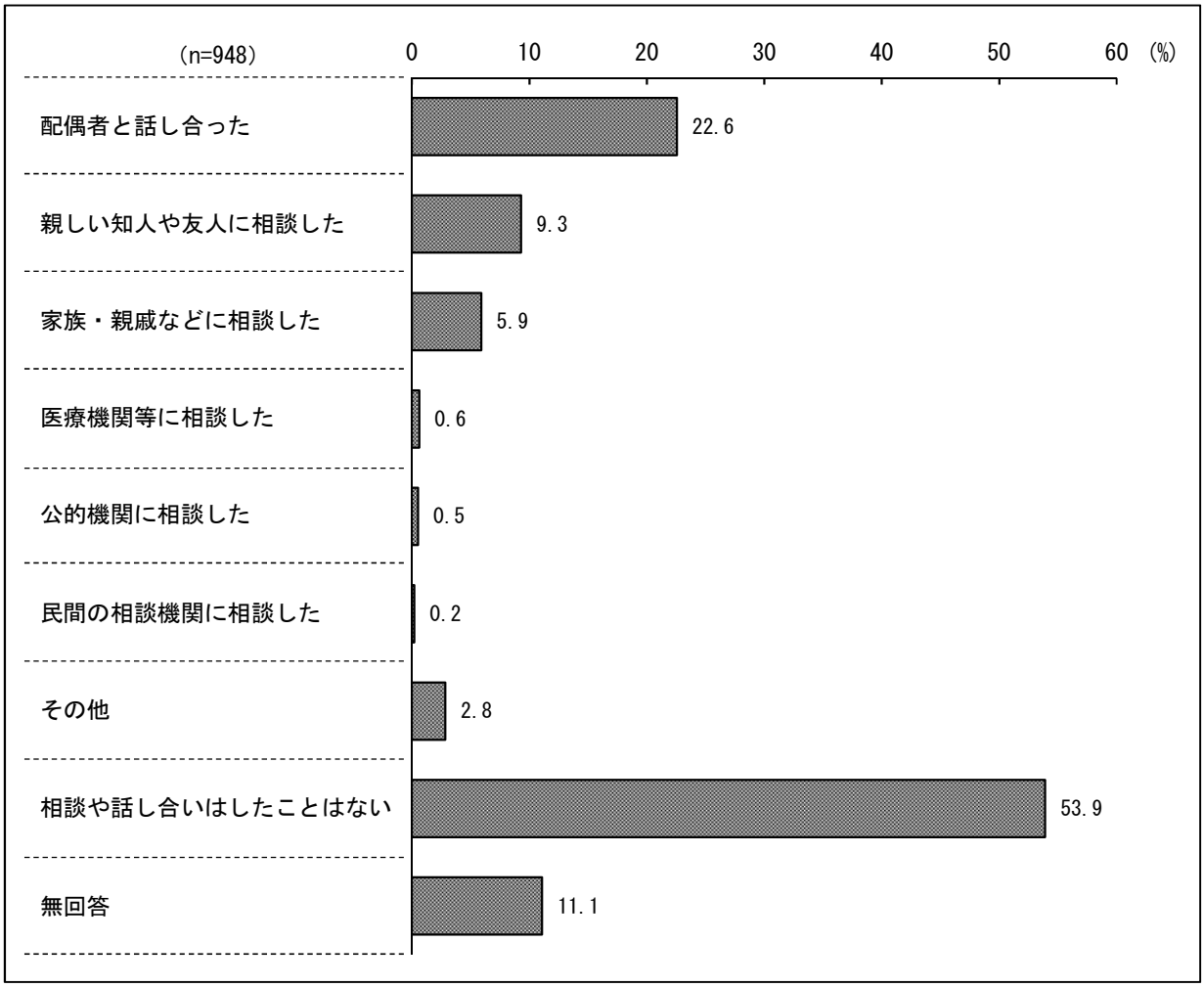
○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると、男女とも「相手が自分を怒らせることをしたから」が約６割を占めており、男性では 50 代（73.4%）が、女性では 30 代（72.8%）が７割を超えて最も多くなっている。また、「イライラしていた」、「相手が自分の思い通りにならなかったから」は男性が女性を５ポイント以上上回っている。

（６）問 21 の各行為の後に相談した相手（場所）

※問 21 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。

問 21－３　あなたは、問 21 のような行為をしたことについて、誰か（どこか）に相談したり話し合いましたか。**（○はいくつでも）**



図表 2-5-18　問 21 の各行為の後に相談した相手（場所）

○ 全体の傾向

問 21 の各行為の後に相談した相手（場所）は、「相談や話し合いはしたことはない」（53.9%）が過半数を占め、次いで「配偶者と話し合った」（22.6%）、「親しい知人や友人に相談した」（9.3%）などの順となっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	配偶者と話し合った	親しい知人や友人に相談した	家族・親戚などに相談した	医療機関等に相談した	公的機関に相談した	民間の相談機関に相談した	その他	相談や話し合いはしたことはない	無回答
全体		948	214	88	56	6	5	2	27	511	105
		100.0	22.6	9.3	5.9	0.6	0.5	0.2	2.8	53.9	11.1
性・年代別	男性／合計	417	90	20	17	3	1	1	9	262	37
		100.0	21.6	4.8	4.1	0.7	0.2	0.2	2.2	62.8	8.9
	20代	8	1	2	1	0	0	0	0	4	0
		100.0	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	30代	38	11	5	2	0	0	0	0	21	3
		100.0	28.9	13.2	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	55.3	7.9
	40代	70	14	2	4	0	0	0	3	48	1
		100.0	20.0	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0	4.3	68.6	1.4
	50代	94	19	3	3	0	0	0	4	65	5
		100.0	20.2	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	4.3	69.1	5.3
	60代	117	28	3	2	1	0	0	1	64	19
		100.0	23.9	2.6	1.7	0.9	0.0	0.0	0.9	54.7	16.2
	70歳以上	89	17	5	5	2	1	1	1	59	9
		100.0	19.1	5.6	5.6	2.2	1.1	1.1	1.1	66.3	10.1
	女性／合計	485	115	63	32	3	4	1	17	227	60
		100.0	23.7	13.0	6.6	0.6	0.8	0.2	3.5	46.8	12.4
	20代	24	9	4	2	0	0	0	0	12	0
		100.0	37.5	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	30代	92	38	16	8	0	0	0	1	38	5
		100.0	41.3	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0	1.1	41.3	5.4
	40代	89	26	11	5	0	1	1	1	47	5
		100.0	29.2	12.4	5.6	0.0	1.1	1.1	1.1	52.8	5.6
	50代	85	14	14	3	0	1	0	5	45	7
		100.0	16.5	16.5	3.5	0.0	1.2	0.0	5.9	52.9	8.2
	60代	112	16	10	10	2	0	0	6	55	18
		100.0	14.3	8.9	8.9	1.8	0.0	0.0	5.4	49.1	16.1
	70歳以上	82	11	8	4	1	2	0	4	30	25
		100.0	13.4	9.8	4.9	1.2	2.4	0.0	4.9	36.6	30.5

図表 2-5-19　問 21 の各行為の後に相談した相手（場所）（性・年代別）

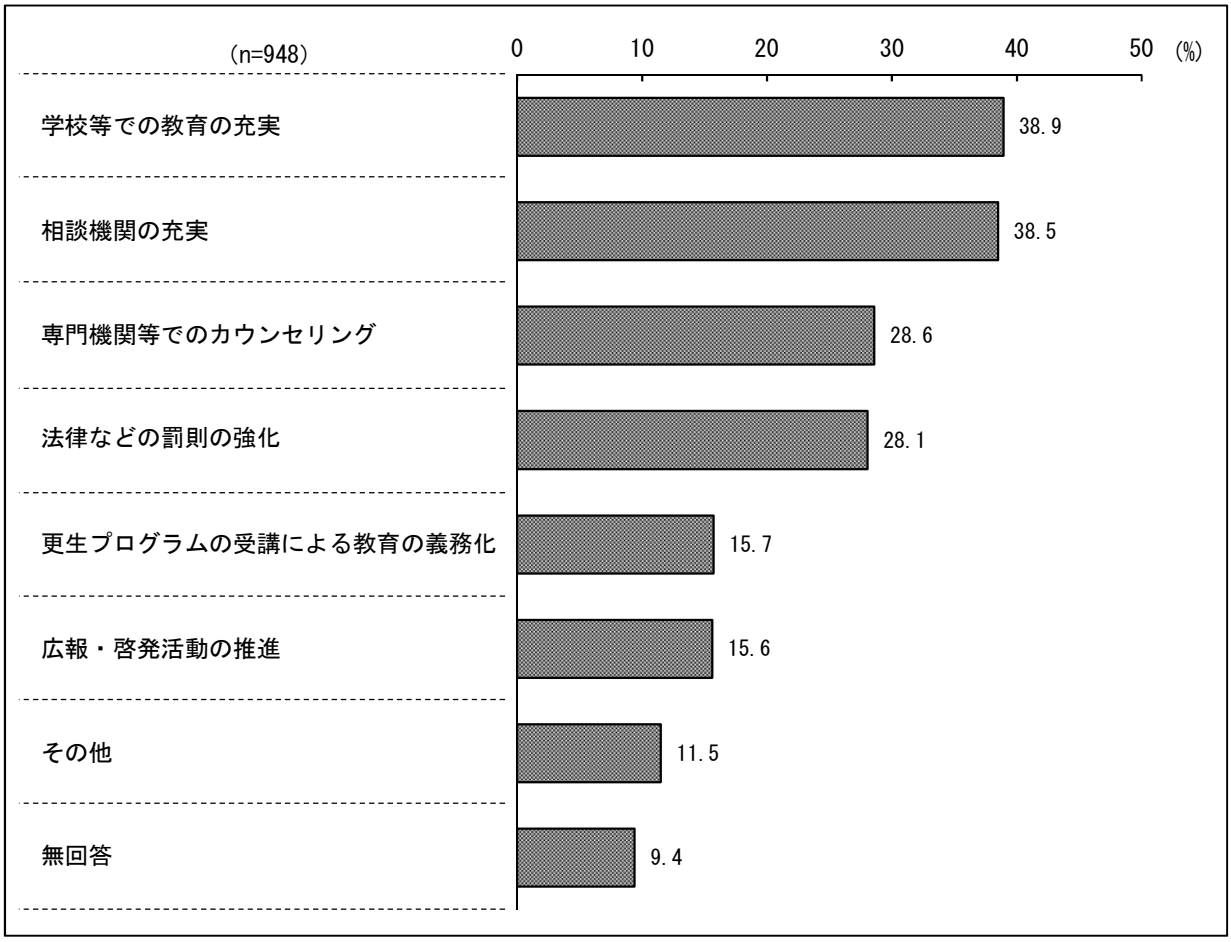
○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると、「配偶者と話し合った」が男女とも約２割を占めているのに対し、「親しい知人や友人に相談した」は女性（13.0%）が男性（4.8%）を約８ポイント上回っている。一方、「相談や話し合いはしたことはない」は女性（46.8%）が半数未満であるのに対し、男性（62.8%）は６割を超え、50 代男性（69.1%）では約７割を占めている。

（７）問 21 の各行為をやめる（しない）ために必要なこと

※問 21 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。

問 21－４　あなたは、問 21 のような行為をやめる（しない）ために必要だと思うことはなんですか。**（○はいくつでも）**



図表 2-5-20　問 21 の各行為をやめる（しない）ために必要なこと

○ 全体の傾向

問 21 の各行為をやめる（しない）ために必要なことは、「学校等での教育の充実」(38.9%) が最も多く、次いで「相談機関の充実」(38.5%)、「専門機関等でのカウンセリング」(28.6%) などの順となっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	学校等での教育の充実	相談機関の充実	専門機関等でのカウンセリング	法律などの罰則の強化	更生プログラムの受講による教育の義務化	広報・啓発活動の推進	その他	無回答
全体		948 100.0	369 38.9	365 38.5	271 28.6	266 28.1	149 15.7	148 15.6	109 11.5	89 9.4
性・年代別	男性／合計	417 100.0	180 43.2	137 32.9	96 23.0	124 29.7	59 14.1	94 22.5	53 12.7	35 8.4
	20代	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	30代	38 100.0	18 47.4	10 26.3	11 28.9	9 23.7	7 18.4	9 23.7	7 18.4	3 7.9
	40代	70 100.0	27 38.6	18 25.7	14 20.0	23 32.9	13 18.6	19 27.1	10 14.3	4 5.7
	50代	94 100.0	43 45.7	40 42.6	25 26.6	33 35.1	16 17.0	23 24.5	8 8.5	4 4.3
	60代	117 100.0	47 40.2	41 35.0	24 20.5	33 28.2	11 9.4	23 19.7	10 8.5	14 12.0
	70歳以上	89 100.0	44 49.4	23 25.8	20 22.5	23 25.8	11 12.4	20 22.5	16 18.0	10 11.2
	女性／合計	485 100.0	171 35.3	206 42.5	160 33.0	131 27.0	82 16.9	50 10.3	50 10.3	51 10.5
	20代	24 100.0	8 33.3	9 37.5	8 33.3	5 20.8	5 20.8	4 16.7	4 16.7	0 0.0
	30代	92 100.0	40 43.5	36 39.1	34 37.0	33 35.9	18 19.6	8 8.7	9 9.8	6 6.5
	40代	89 100.0	31 34.8	32 36.0	37 41.6	31 34.8	13 14.6	12 13.5	8 9.0	5 5.6
	50代	85 100.0	25 29.4	50 58.8	29 34.1	22 25.9	21 24.7	10 11.8	10 11.8	6 7.1
	60代	112 100.0	44 39.3	50 44.6	34 30.4	25 22.3	19 17.0	15 13.4	11 9.8	13 11.6
	70歳以上	82 100.0	23 28.0	29 35.4	18 22.0	15 18.3	6 7.3	1 1.2	7 8.5	21 25.6

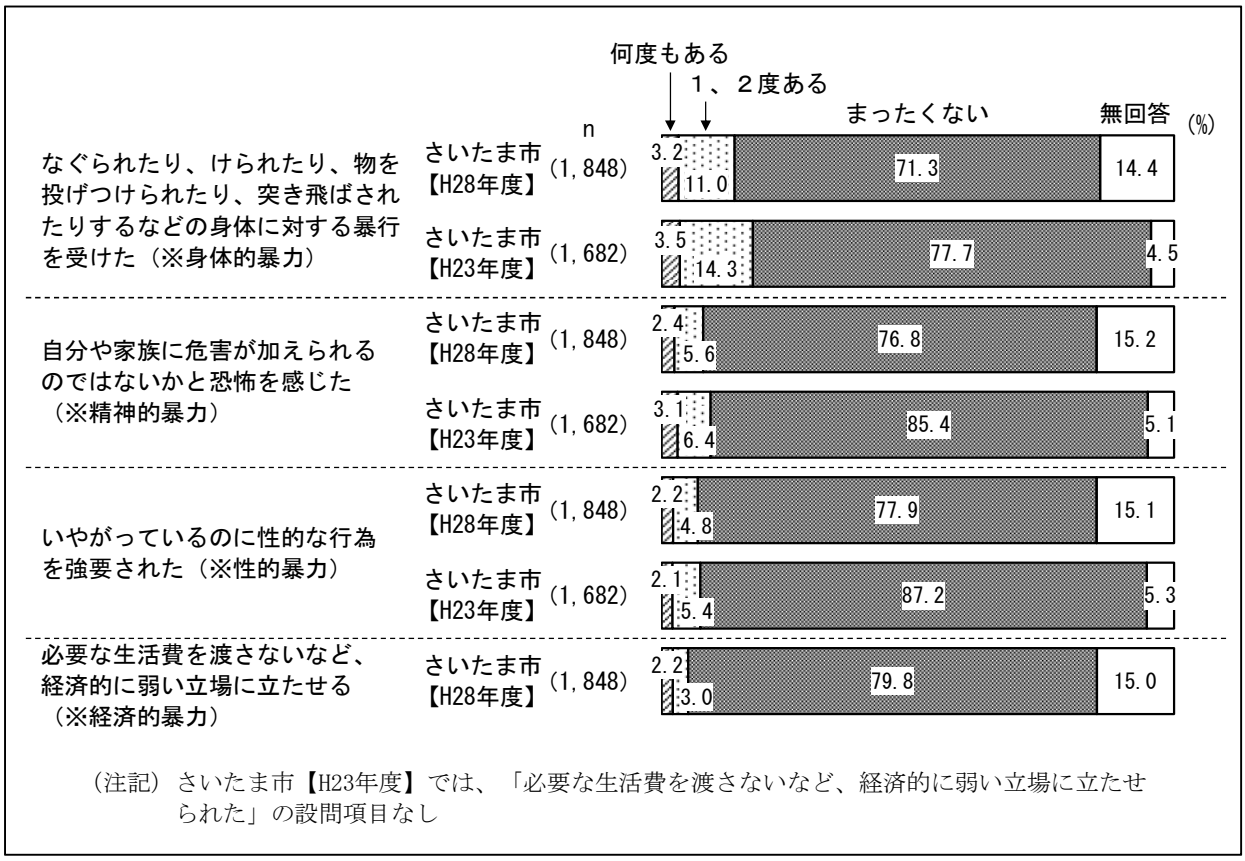
図表 2-5-21　問 21 の各行為をやめる（しない）ために必要なこと（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると、男性は「学校等での教育の充実」(43.2%)、「相談機関の充実」(32.9%)、「法律などの罰則の強化」(29.7%) の順となっており、「広報・啓発活動の推進」(22.5%) も女性 (10.3%) を 10 ポイント以上上回っている。一方、女性は「相談機関の充実」(42.5%) が「学校等での教育の充実」(35.3%) を上回り、「専門機関等でのカウンセリング」(33.0%) も男性 (23.0%) より 10 ポイント多くなっている。

（８）配偶者などからの被害経験

問 22　あなたはこれまでに、あなたの配偶者などから次のような行為をされたことがありますか。**（ア～エのそれぞれについて、あてはまる「１～４」に○を１つ）**



（注記）さいたま市【H23年度】では、「必要な生活費を渡さないなど、経済的に弱い立場に立たせられた」の設問項目なし

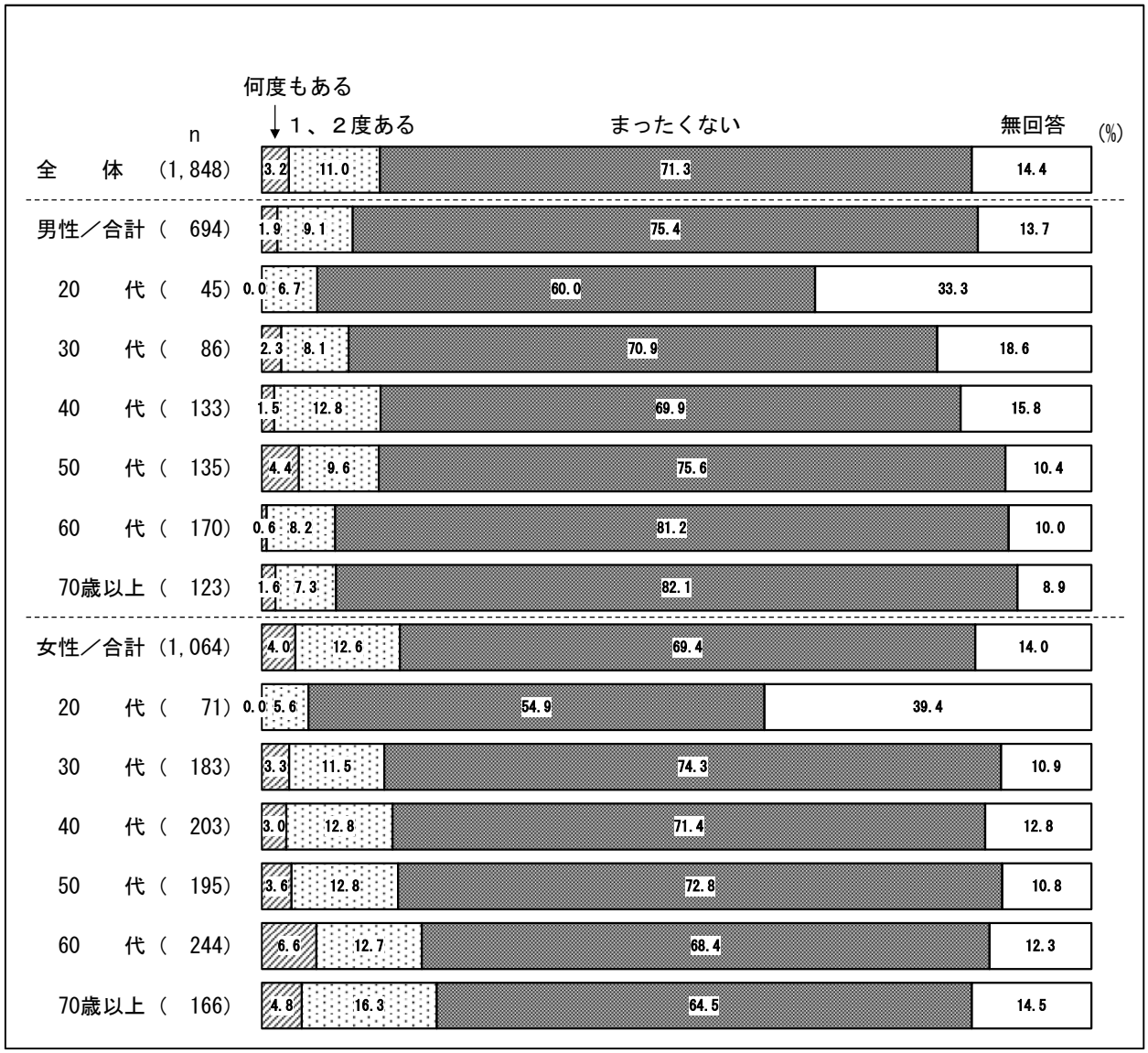
図表 2-5-22　配偶者などからの被害経験

○ 全体の傾向・経年変化

配偶者などからされた行為（４項目）は、「まったくない」が７割を超えている。身体的暴力は「１、２度ある」（11.0%）が１割を超え、「何度もある」（3.2%）は横ばいとなっている。

平成 23 年度調査結果と比較すると、「まったくない」が減少傾向となっている。

ア．身体的暴力

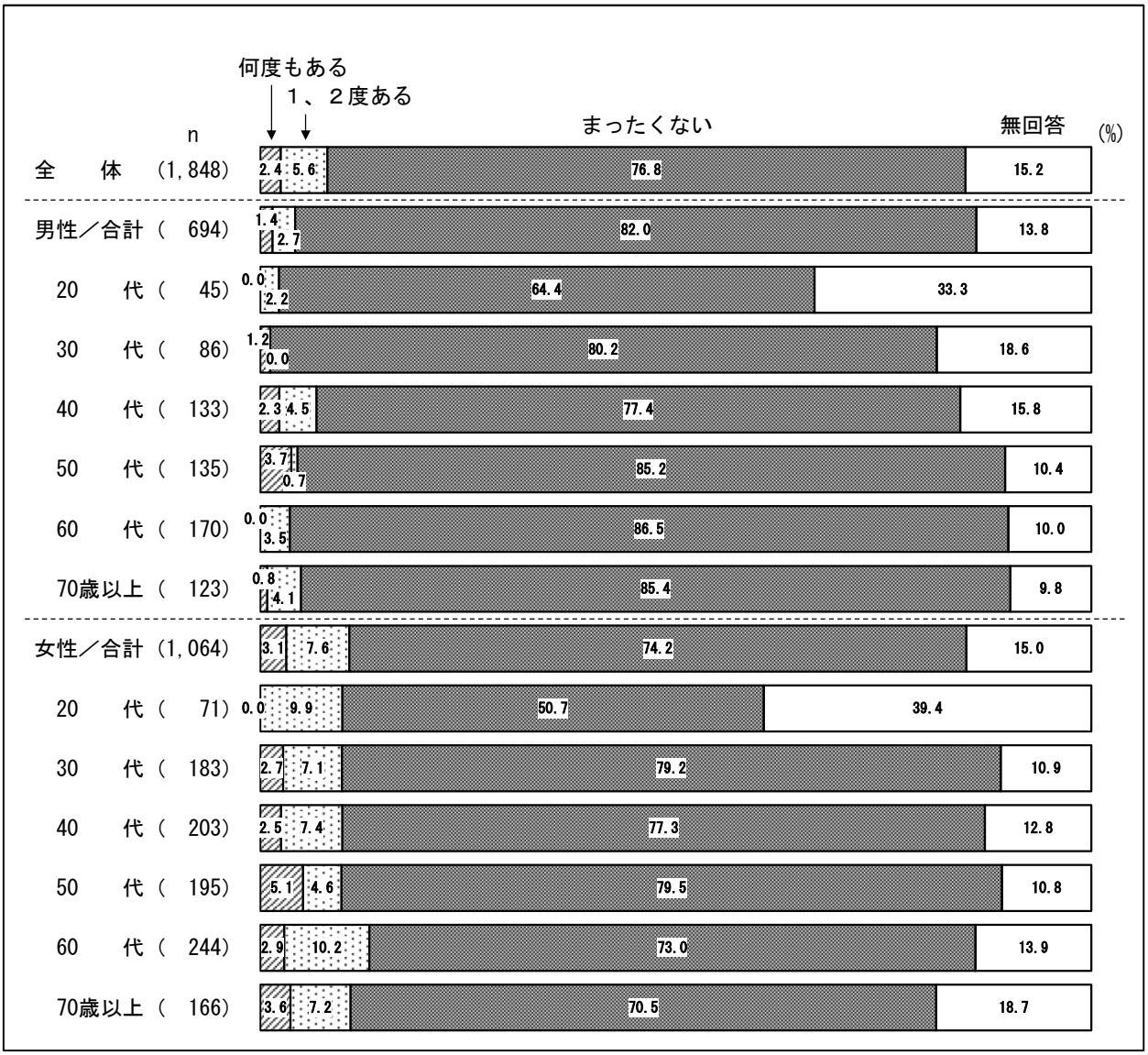


図表 2-5-23 「身体的暴力」の被害経験（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると「まったくない」は男性（75.4%）が女性（69.4%）を６ポイント上回っている。また、男性は 30～50 代で「何度もある」、「１、２度ある」の合計が１割を超えている。一方、女性は年代が上がるにつれ「何度もある」、「１、２度ある」が増加する傾向にあり、70 歳以上では両者を合わせると２割を超えている。

イ．精神的暴力

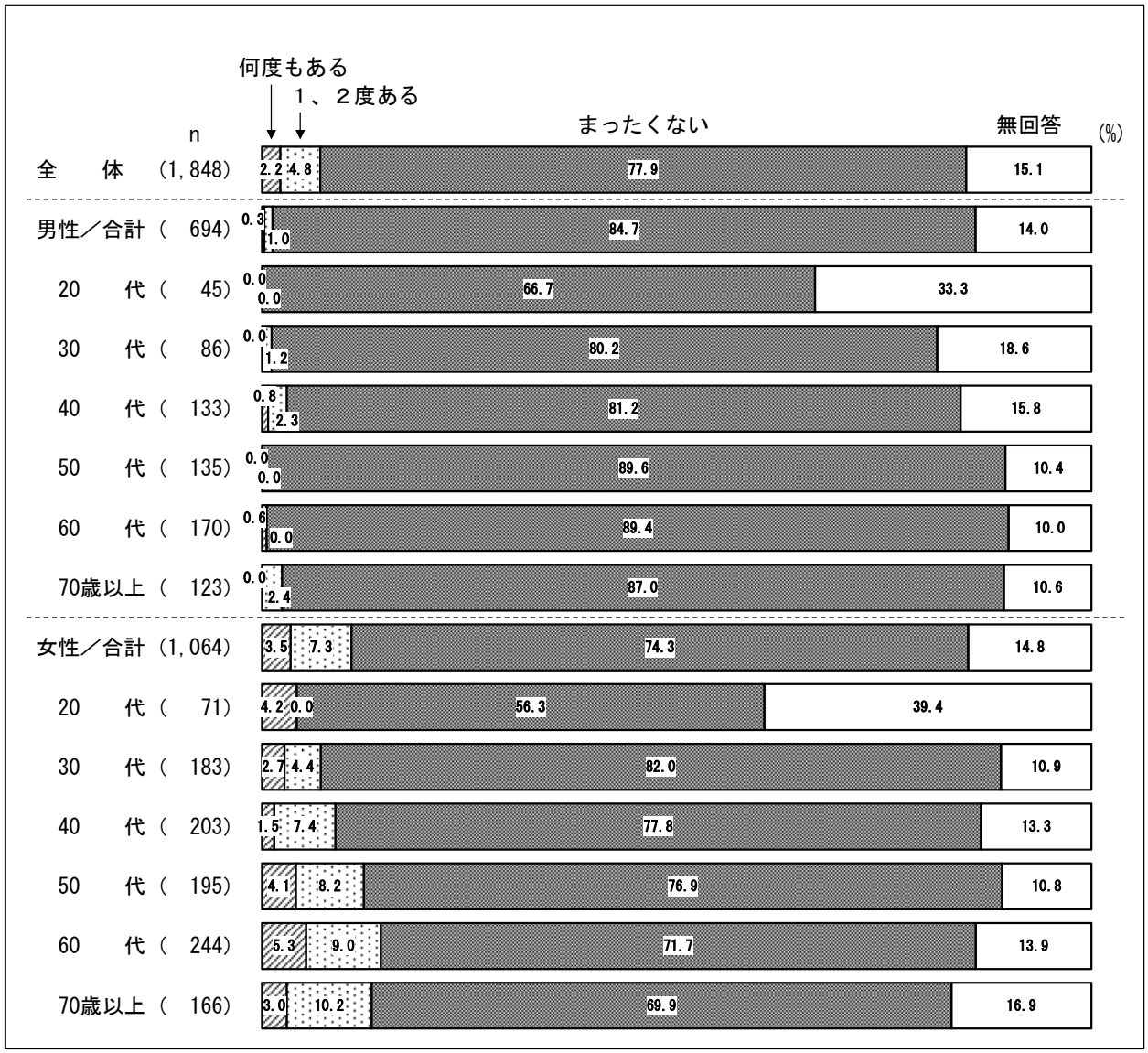


図表 2-5-24 「精神的暴力」の被害経験（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると「まったくない」は男性（82.0%）が女性（74.2%）を約８ポイント上回っている。男性は 40 代を除き「何度もある」、「１、２度ある」の合計が５%未満であるのに対し、女性はすべての年代で約１割を占めている。

ウ．性的暴力

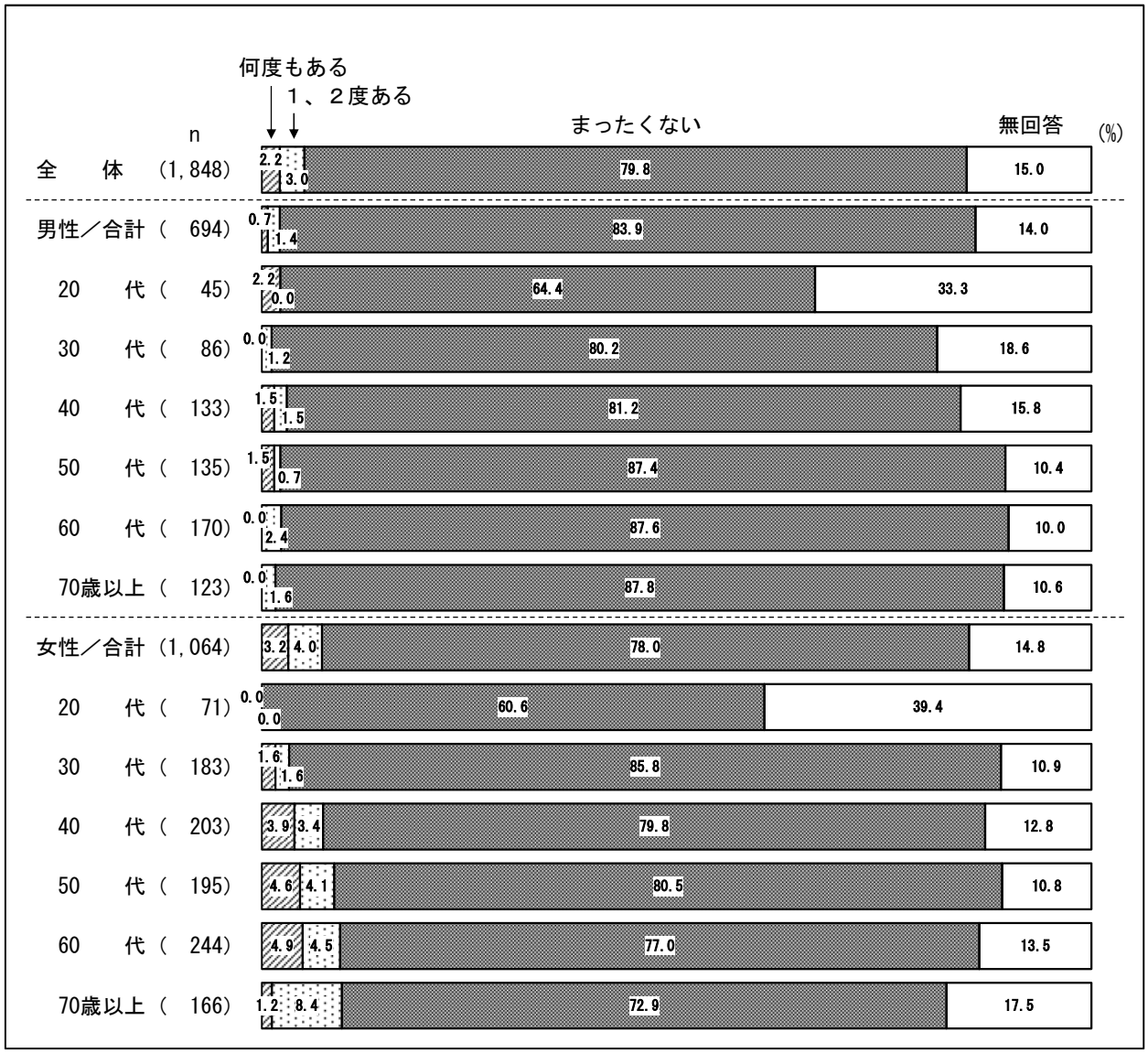


図表 2-5-25 「性的暴力」の被害経験（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると「まったくない」は男性（84.7%）が女性（74.3%）を約 10 ポイント上回っている。男性は「何度もある」、「１、２度ある」の合計が５%未満であるのに対し、女性は年代が上がるにつれ増加する傾向にあり、50 歳以上では１割を超えている。

エ．経済的暴力



図表 2-5-26 「経済的暴力」の被害経験（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

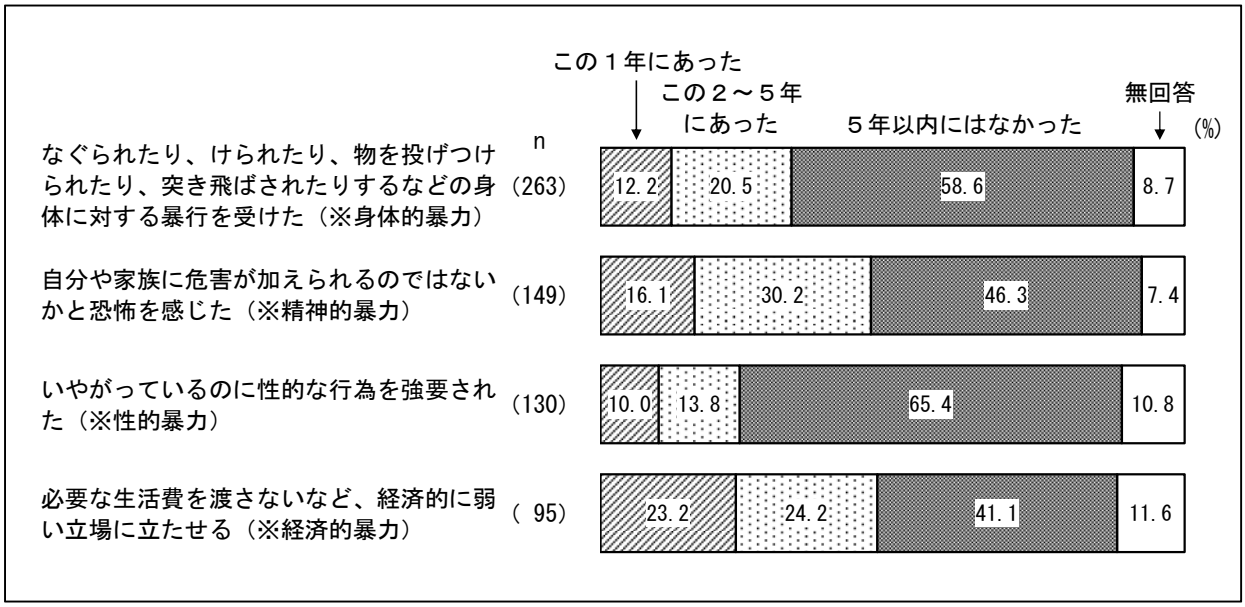
性・年代別でみると「まったくない」は男性（83.9%）が女性（78.0%）を約６ポイント上回っている。男性は「何度もある」、「１、２度ある」の合計が３%以下であるのに対し、女性は年代が上がるにつれ増加する傾向にあり、60 歳以上では約１割を占めている。

（９）問 22 の各行為を受けた時期

※問 22 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。

問 22－１　この１年とこの２～５年では、いかがでしたか。

（ア～エのそれぞれについて、あてはまる「１～３」に○を１つ）



図表 2-5-27　問 22 の各行為を受けた時期

○ 全体の傾向

問 22 の行為を受けた時期は、性的暴力は「５年以内にはなかった」(65.4%) が６割を超え、身体的暴力（58.6%）も過半数を占めている。一方、経済的暴力は「この１年にあった」(23.2%)、「この２～５年にあった」(24.2%) が２割を超え、精神的暴力は「この２～５年にあった」(30.2%) が約３割を占めている。

○ 性別の傾向・経年変化

『身体的暴力』を性別でみると、男性は「この１年にあった」が 17.1%、「この２～５年にあった」が 19.7%、「５年以内にはなかった」が 61.8%となっている。一方、女性は「この１年にあった」が 9.0%、「この２～５年にあった」が 21.5%、「５年以内にはなかった」が 58.2%であり、「この１年にあった」は男性が女性を約８ポイント上回っている。

平成 23 年度の調査結果と比較すると、男性は「５年以内にはなかった」が 10 ポイント増加し、女性は「この１年にあった」が７ポイント減少している。

『精神的暴力』を性別でみると、性別でみると、女性は「この１年にあった」が 12.3%、「この２～５年にあった」が 34.2%、「５年以内にはなかった」が 45.6%となっている。

平成 23 年度の調査結果と比較すると、「この１年にあった」がやや減少し、「この２～５年にあった」がやや増加している。

『性的暴力』を性別でみると、女性は「この１年にあった」が 8.7%、「この２～５年にあった」が 13.9%、「５年以内にはなかった」が 66.1%となっている。

平成 23 年度の調査結果と比較すると、女性は「この２～５年にあった」が約４ポイント減少している。

『経済的暴力』を性別でみると、女性は「この１年にあった」が 22.1%、「この２～５年にあった」が 22.1%、「５年以内にはなかった」が 44.2%となっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	身体的暴力			
			この1年にあった	この2～5年にあった	5年以内にはなかった	無回答
《全体》	さいたま市【H28年度】	263	32	54	154	23
		100.0	12.2	20.5	58.6	8.7
	さいたま市【H23年度】	300	50	68	157	25
		100.0	16.7	22.7	52.3	8.3
《男性》	さいたま市【H28年度】	76	13	15	47	1
		100.0	17.1	19.7	61.8	1.3
	さいたま市【H23年度】	85	18	20	44	3
		100.0	21.2	23.5	51.8	3.5
《女性》	さいたま市【H28年度】	177	16	38	103	20
		100.0	9.0	21.5	58.2	11.3
	さいたま市【H23年度】	187	30	40	99	18
		100.0	16.0	21.4	52.9	9.6

		n	精神的暴力			
			この1年にあった	この2～5年にあった	5年以内にはなかった	無回答
《全体》	さいたま市【H28年度】	149	24	45	69	11
		100.0	16.1	30.2	46.3	7.4
	さいたま市【H23年度】	160	21	50	73	16
		100.0	13.1	31.3	45.6	10.0
《男性》	さいたま市【H28年度】	29	8	5	14	2
		100.0	27.6	17.2	48.3	6.9
	さいたま市【H23年度】	27	3	9	13	2
		100.0	11.1	33.3	48.1	7.4
《女性》	さいたま市【H28年度】	114	14	39	52	9
		100.0	12.3	34.2	45.6	7.9
	さいたま市【H23年度】	114	17	36	49	12
		100.0	14.9	31.6	43.0	10.5

		n	性的暴力			
			この1年にあった	この2～5年にあった	5年以内にはなかった	無回答
《全体》	さいたま市【H28年度】	130	13	18	85	14
		100.0	10.0	13.8	65.4	10.8
	さいたま市【H23年度】	126	11	25	82	8
		100.0	8.7	19.8	65.1	6.3
《男性》	さいたま市【H28年度】	9	1	1	7	0
		100.0	11.1	11.1	77.8	0.0
	さいたま市【H23年度】	9	0	2	7	0
		100.0	0.0	22.2	77.8	0.0
《女性》	さいたま市【H28年度】	115	10	16	76	13
		100.0	8.7	13.9	66.1	11.3
	さいたま市【H23年度】	99	9	18	65	7
		100.0	9.1	18.2	65.7	7.1

	n	経済的暴力			
		この1年にあった	この2～5年にあった	5年以内にはなかった	無回答
《全　体》	95	22	23	39	11
	100.0	23.2	24.2	41.1	11.6
《男　性》	15	3	6	4	2
	100.0	20.0	40.0	26.7	13.3
《女　性》	77	17	17	34	9
	100.0	22.1	22.1	44.2	11.7

（注記）さいたま市【H23年度】では、「必要な生活費を渡さないなど、経済的に弱い立場に立たせられた」の設問項目なし

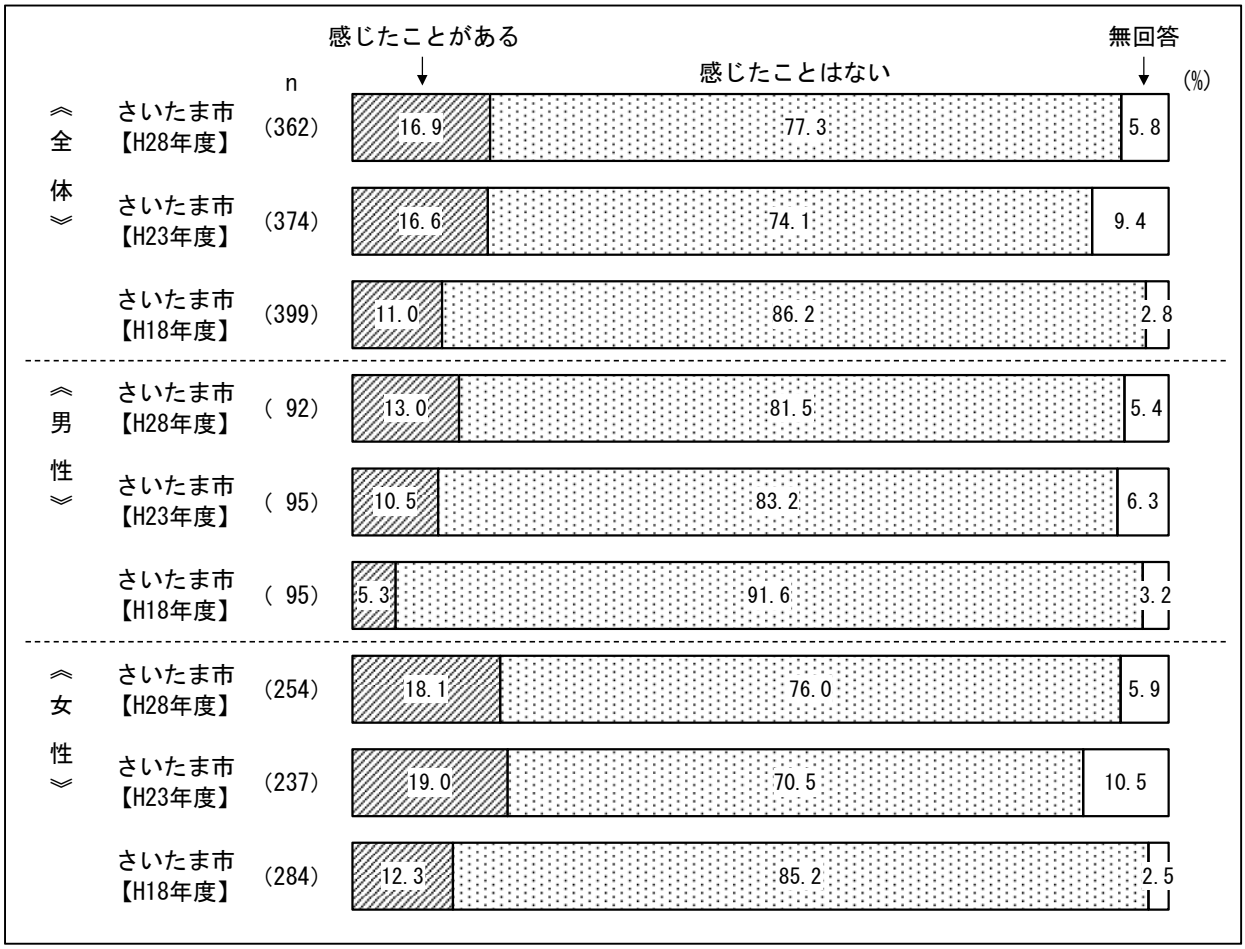
図表 2-5-28　問 22 の各行為を受けた時期（性別）

(10) 問 22 の各行為中に感じた命の危険

※問 22 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。

問 22－２　あなたはこれまでに、その相手の行為によって、命の危険を感じたことがありますか。

（○は１つ）



図表 2-5-29　問 22 の各行為中に感じた命の危険

○ 全体の傾向・性別の傾向・経年変化

全体では、「感じたことがある」が 16.9%、「感じたことはない」が 77.3%となっている。

性別でみると、「感じたことがある」は女性（18.1%）が男性（13.0%）を約５ポイント上回っている。

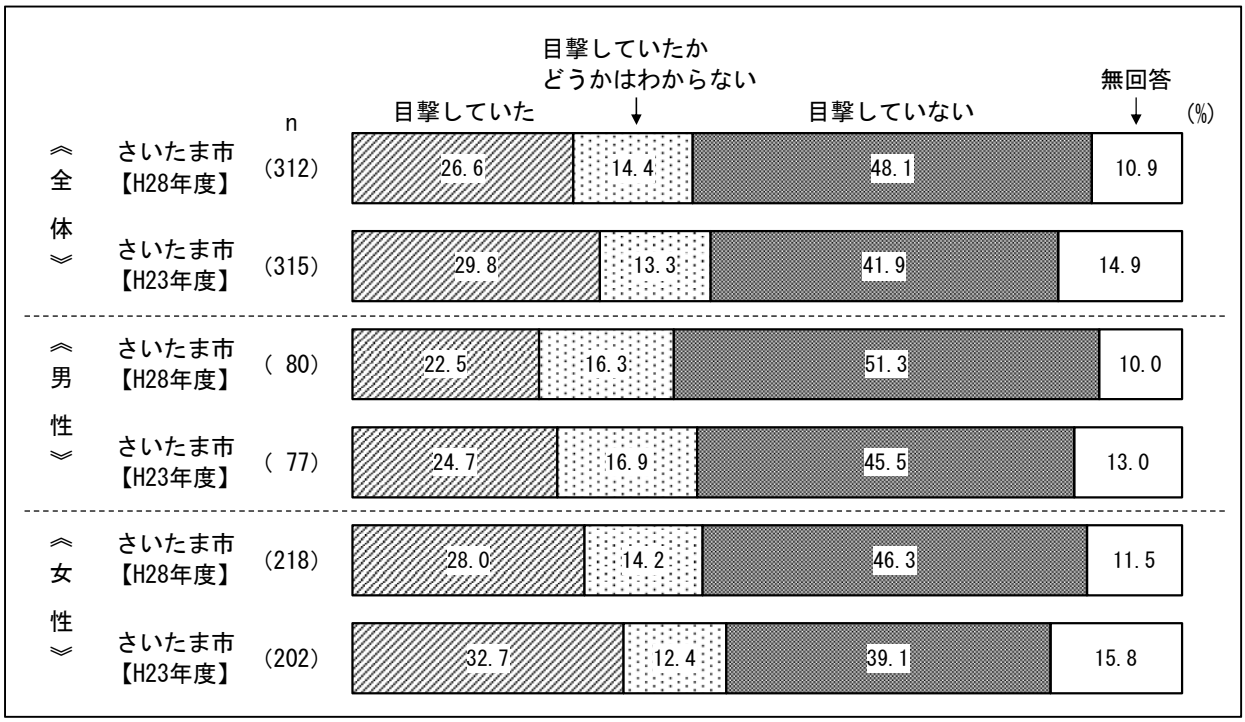
過去の調査結果と比較すると、「感じたことがある」は増加傾向にあり、特に男性は平成 18 年度の２倍を超えている。

（11）問 22 の各行為を受けた際、子どもの目撃の有無

※問 22 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。
問 22－３は子どもがいる方におうかがいします。

問 22－３　あなたがその行為を受けた時に、あなたのお子さんはそれを目撃しましたか。

（○は１つ）



図表 2-5-30　問 22 の各行為を受けた際、子どもの目撃の有無

○ 全体の傾向・性別の傾向・経年変化

全体では、「目撃していた」が 26.6%、「目撃していない」が 48.1%、「目撃していたかどうかはわからない」が 14.4%となっている。

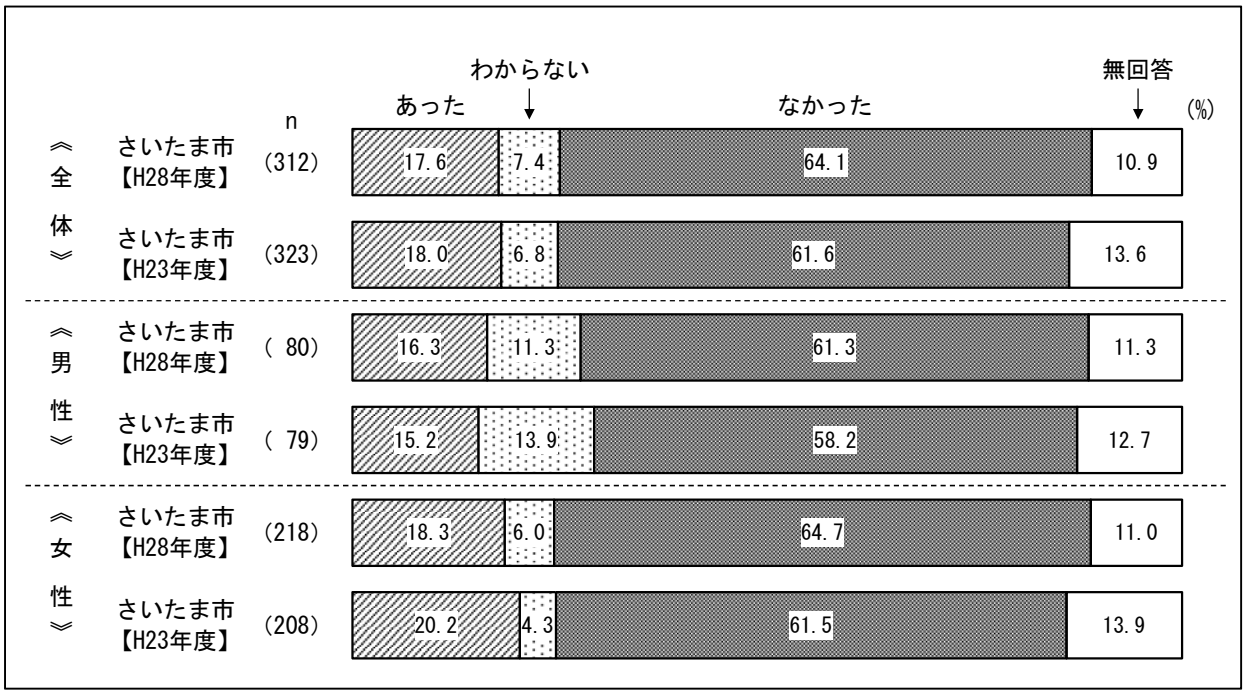
性別でみると、「目撃していた」は女性（28.0%）が男性（22.5%）を上回り、「目撃していない」は男性（51.3%）が女性（46.3%）より多くなっている。

平成 23 年度の調査結果と比較すると、さいたま市全体、男女とも「目撃していた」がやや減少している。

（12）問 22 の各行為が子どもにも同様に行われたか

※問 22 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。
問 22－４は子どもがいる方におうかがいします。

問 22－４　その相手は、あなたのお子さんに対して、あなたがされていたのと同じ行為をしたことがありましたか。**（○は１つ）**



図表 2-5-31　問 22 の各行為が子どもにも同様に行われたか

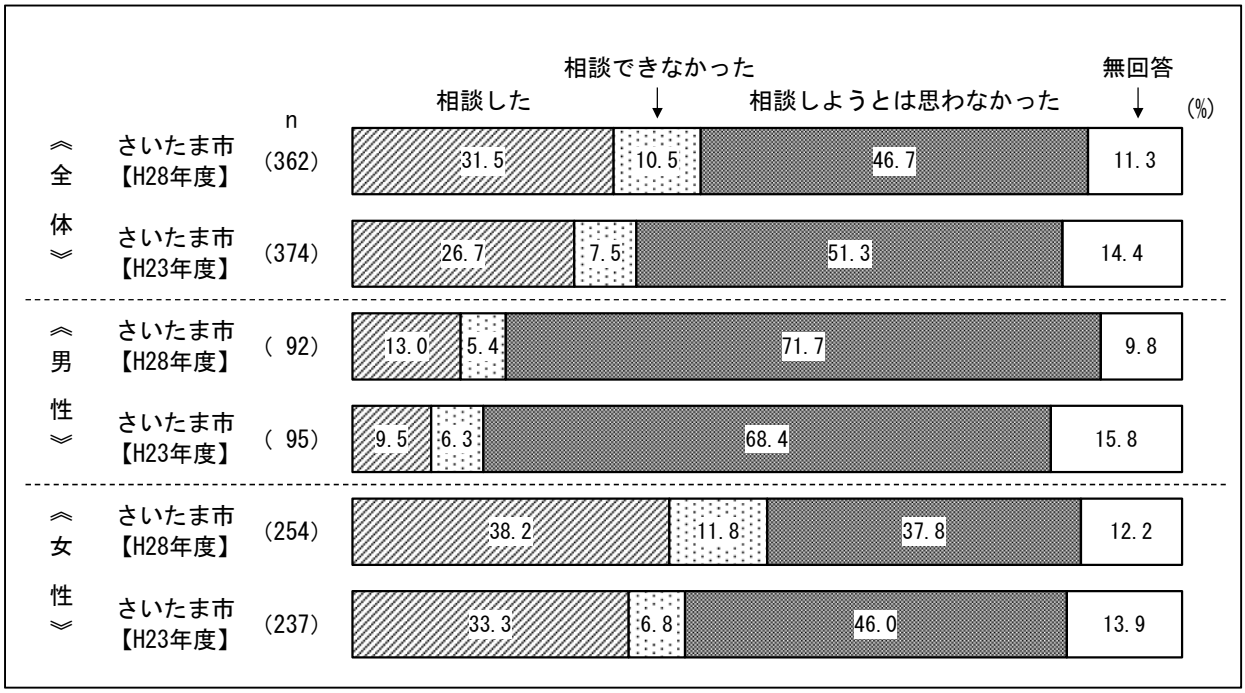
○ 全体の傾向・性別の傾向・経年変化

全体では、「あった」が 17.6%、「なかった」が 64.1%、「わからない」が 7.4%となっている。
性別でみると、「あった」、「なかった」とも女性が男性をやや上回っている。
平成 23 年度の調査結果と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。

（13）問 22 の各行為に関しての相談状況

※問 22 でひとつでも「何度もある」「１、２度ある」と回答した方におうかがいします。

問 22－５　あなたはこれまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。**（○は１つ）**



図表 2-5-32　問 22 の各行為に関しての相談状況

○ 全体の傾向・性別の傾向・経年変化

全体では、「相談した」が 31.5%、「相談できなかった」が 10.5%、「相談しようとは思わなかった」が 46.7%となっている。

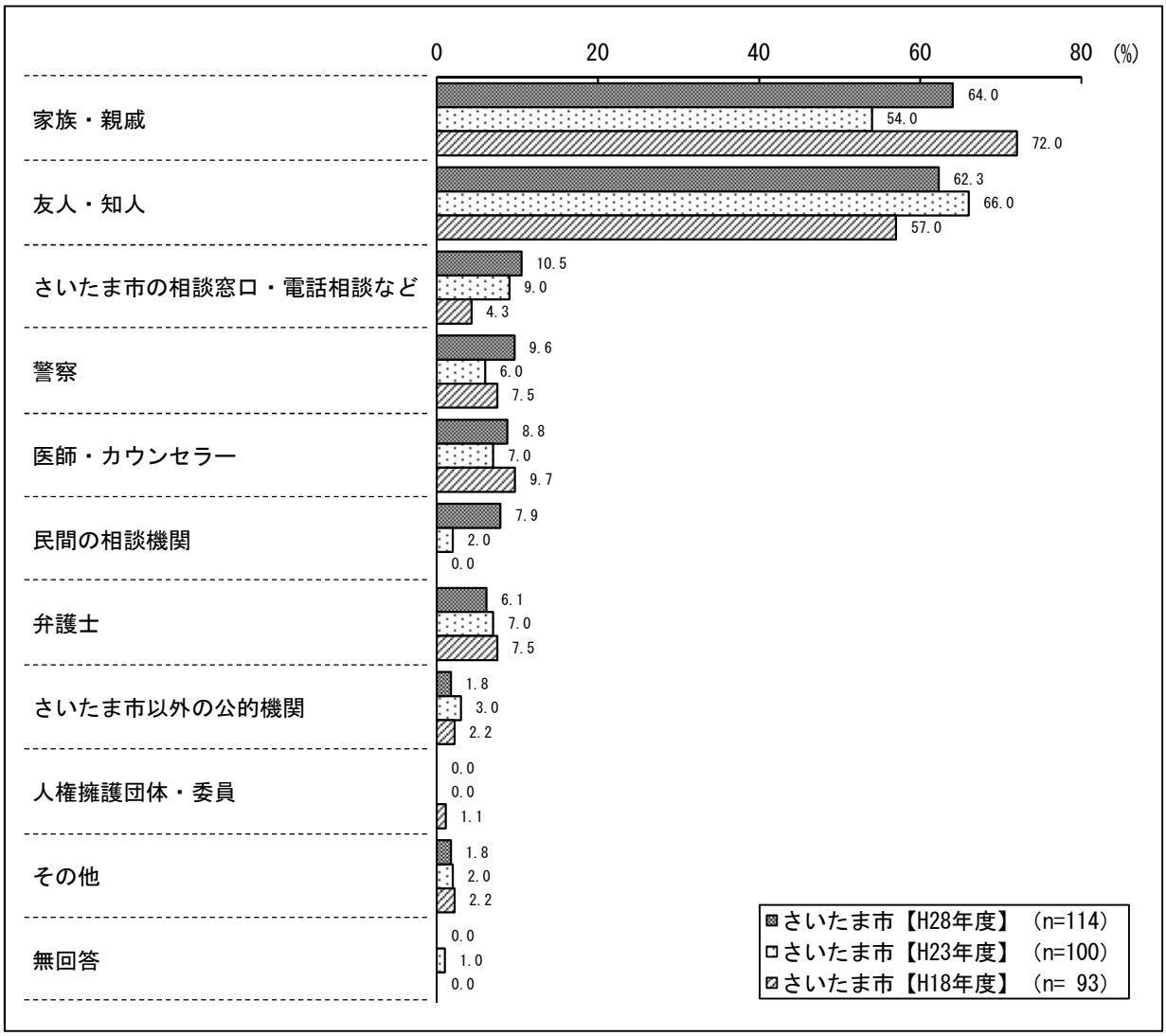
性別でみると、女性は「相談した」(38.2%)が約４割を占め、「相談しようとは思わなかった」(37.8%)を上回るのに対し、男性は「相談した」（13.0%）が１割台にとどまっている。

平成 23 年度の調査結果と比較（全体）すると、「相談した」は約５ポイント、「相談できなかった」が３ポイント増加し、「相談しようとは思わなかった」は約５ポイント減少している。一方、男性でみると、「相談しようとは思わなかった」は、全体の傾向とは異なり、やや増えている。

(14) 問 22 の各行為に関しての相談相手（場所）

※問 22－５で「１．相談した」と回答した方におうかがいします。

問 22－６　あなたが相談した人（場所）を教えてください。**（○はいくつでも）**



図表 2-5-33　問 22 の各行為に関しての相談相手（場所）

○ 全体の傾向・経年変化

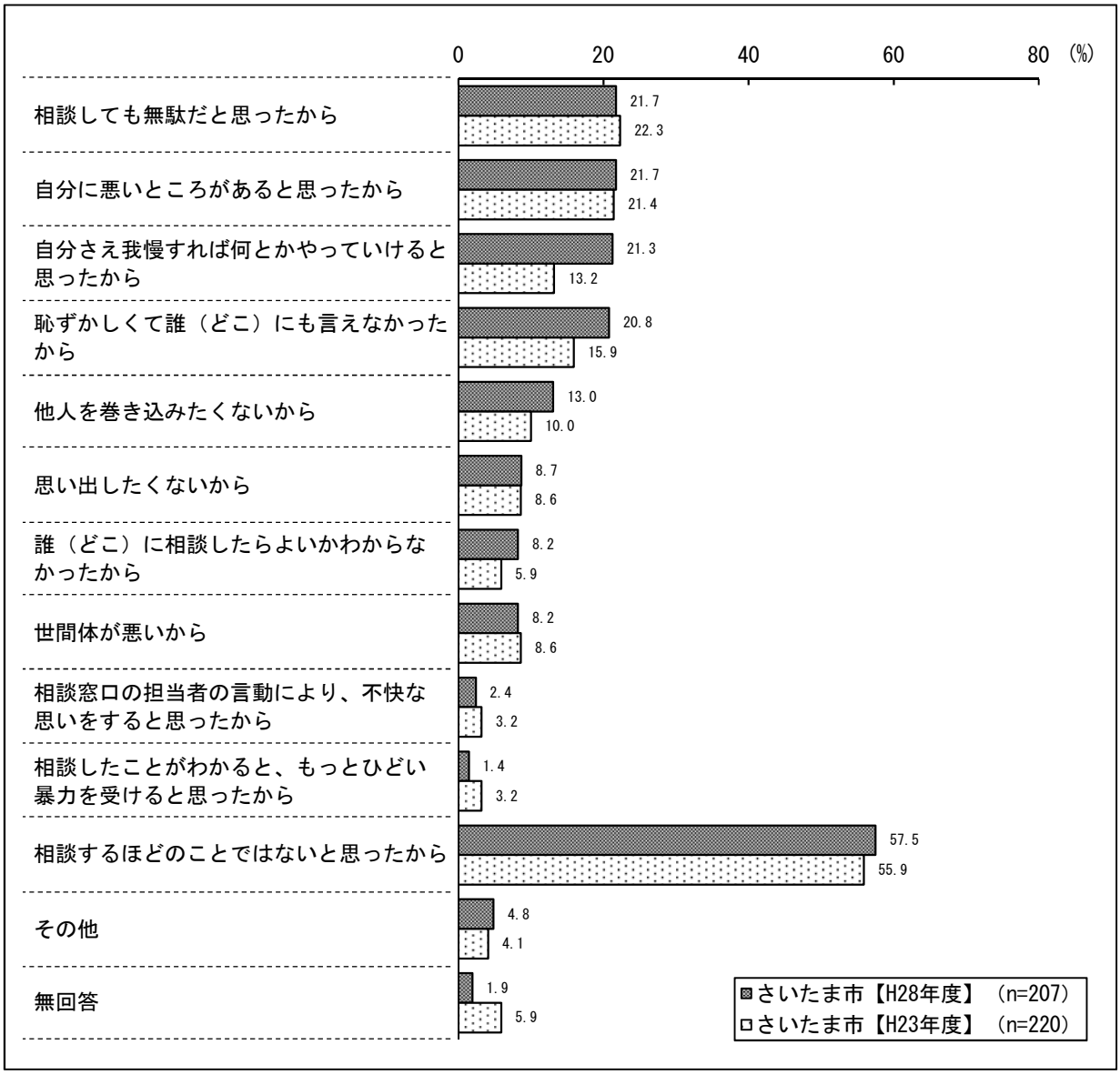
相談した人（場所）は、「家族・親戚」（64.0%）と「友人・知人」（62.3%）が６割を超え、「さいたま市の相談窓口・電話相談など」（10.5%）以下の項目を大きく上回っている。

過去の調査結果と比較すると、「家族・親戚」は平成 23 年度を 10 ポイント上回り、「さいたま市の相談窓口・電話相談など」もやや増加傾向にある。

(15) 問 22 の各行為に関して相談しなかった理由

※問 22－５で「２．相談できなかった」「３．相談しようとは思わなかった」と回答した方におうかがいします。

問 22－７　あなたが誰（どこ）にも相談できなかったのはなぜですか。**（○はいくつでも）**



図表 2-5-34　問 22 の各行為に関して相談しなかった理由

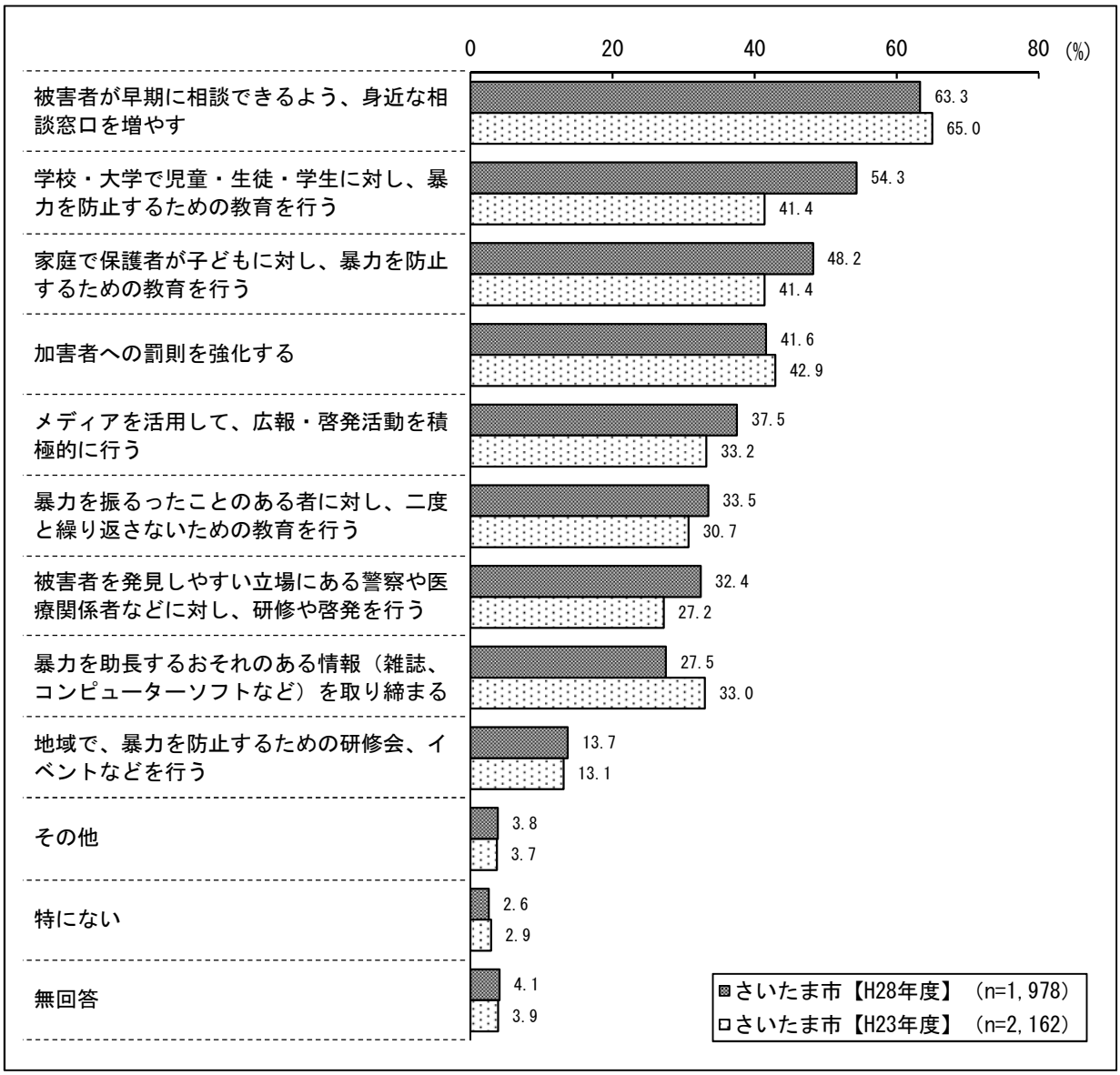
○ 全体の傾向・経年変化

相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」(57.5%) が最も多く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」(21.7%)、「自分に悪いところがあると思ったから」(21.7%) などの順となっている。

平成 23 年度の調査結果と比較すると、「自分さえ我慢すればなんとかやっていけると思ったから」(21.3%) や「恥ずかしくて誰（どこ）にも言えなかったから」(20.8%) などが増加している。

（16）配偶者などの間における暴力を防止するために必要なこと

問 23　配偶者などの間における暴力を阻止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。（**○はいくつでも**）



図表 2-5-35　配偶者などの間における暴力を防止するために必要なこと

○ 全体の傾向・経年変化

配偶者などの間における暴力を防止するためには、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」（63.3%）が最も多く、次いで「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」（54.3%）、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」（48.2%）などの順となっている。

平成 23 年度の調査結果と比較すると、「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」が約 13 ポイント増加し、「被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う」（32.4%）なども多くなっている。

上段：実数　下段：(%)

		n	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる	地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	その他	特にない	無回答
全体		1,978	1,252	1,075	954	823	742	662	641	544	271	76	51	81
		100.0	63.3	54.3	48.2	41.6	37.5	33.5	32.4	27.5	13.7	3.8	2.6	4.1
性・年代別	男性／合計	761	428	392	372	333	279	221	236	175	121	32	27	24
		100.0	56.2	51.5	48.9	43.8	36.7	29.0	31.0	23.0	15.9	4.2	3.5	3.2
	20代	74	47	36	38	41	23	21	34	11	8	1	1	3
		100.0	63.5	48.6	51.4	55.4	31.1	28.4	45.9	14.9	10.8	1.4	1.4	4.1
	30代	96	67	43	51	58	33	30	34	13	17	5	3	1
		100.0	69.8	44.8	53.1	60.4	34.4	31.3	35.4	13.5	17.7	5.2	3.1	1.0
	40代	145	84	78	74	65	59	42	44	38	19	7	4	1
		100.0	57.9	53.8	51.0	44.8	40.7	29.0	30.3	26.2	13.1	4.8	2.8	0.7
	50代	142	82	75	70	67	65	41	52	31	20	5	5	1
		100.0	57.7	52.8	49.3	47.2	45.8	28.9	36.6	21.8	14.1	3.5	3.5	0.7
	60代	176	94	92	80	68	59	52	42	46	30	4	7	6
		100.0	53.4	52.3	45.5	38.6	33.5	29.5	23.9	26.1	17.0	2.3	4.0	3.4
	70歳以上	126	53	68	59	33	39	35	29	36	26	10	6	12
		100.0	42.1	54.0	46.8	26.2	31.0	27.8	23.0	28.6	20.6	7.9	4.8	9.5
	女性／合計	1,125	776	648	544	462	433	415	380	350	137	39	19	41
		100.0	69.0	57.6	48.4	41.1	38.5	36.9	33.8	31.1	12.2	3.5	1.7	3.6
	20代	96	73	48	44	53	31	25	41	19	8	6	0	0
		100.0	76.0	50.0	45.8	55.2	32.3	26.0	42.7	19.8	8.3	6.3	0.0	0.0
	30代	196	142	110	99	101	83	78	73	46	17	9	3	1
		100.0	72.4	56.1	50.5	51.5	42.3	39.8	37.2	23.5	8.7	4.6	1.5	0.5
	40代	212	137	136	91	107	84	79	71	65	18	12	3	2
		100.0	64.6	64.2	42.9	50.5	39.6	37.3	33.5	30.7	8.5	5.7	1.4	0.9
	50代	201	152	117	95	85	84	88	77	73	33	4	5	4
		100.0	75.6	58.2	47.3	42.3	41.8	43.8	38.3	36.3	16.4	2.0	2.5	2.0
	60代	250	183	147	133	77	100	92	80	96	32	3	4	14
		100.0	73.2	58.8	53.2	30.8	40.0	36.8	32.0	38.4	12.8	1.2	1.6	5.6
	70歳以上	168	89	89	81	38	51	53	38	51	29	4	4	20
		100.0	53.0	53.0	48.2	22.6	30.4	31.5	22.6	30.4	17.3	2.4	2.4	11.9

図表 2-5-36　配偶者などの間における暴力を防止するために必要なこと（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

性・年代別でみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」「暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」「暴力を助長する恐れのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる」などの項目は女性が男性を５ポイント以上上回っている。

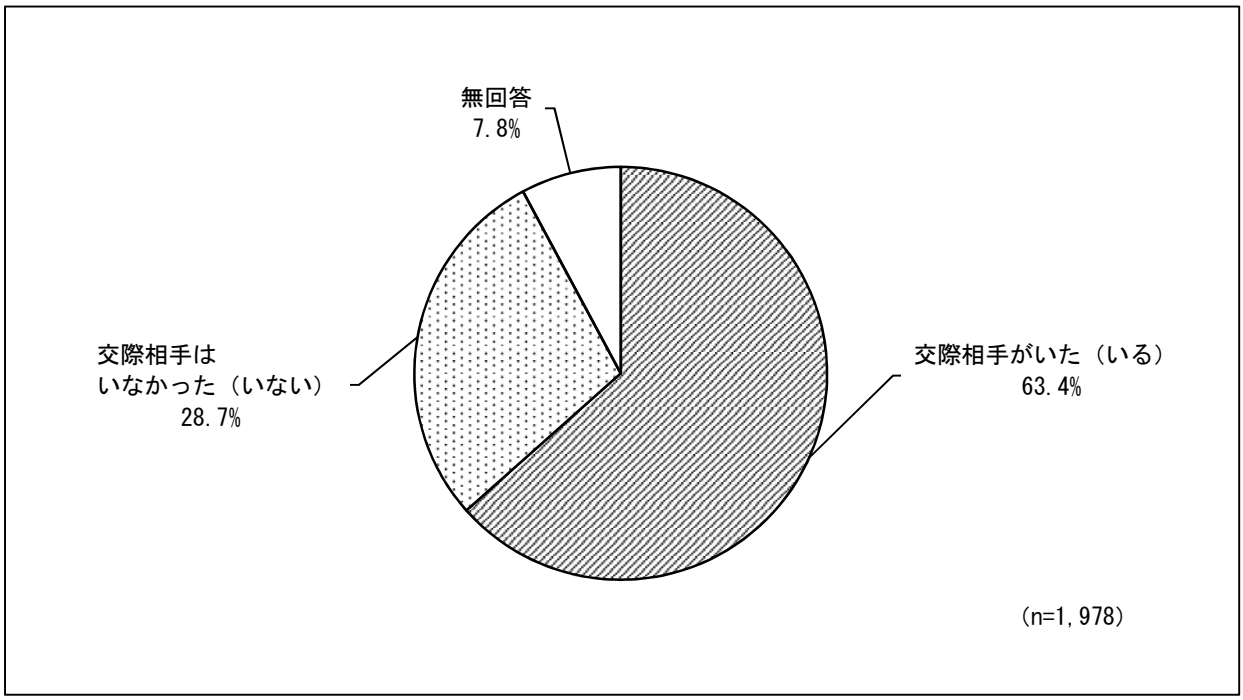
「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」は男性が若い年代ほど多くなる傾向にあるのに対し、女性は 20～30 代に加え、50～60 代でも７割を超えている。

また、「学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う」は女性 40 代（64.2%）、「加害者への罰則を強化する」は男性 30 代（60.4%）で６割を超え、他の年代に比べ多くなっている。

(17) 10 代、20 代における交際相手の有無

※問 24 は、あなたの 10 代から 20 代の経験についておうかがいします。結婚している方、結婚したことがある方については、結婚前についてお答えください。

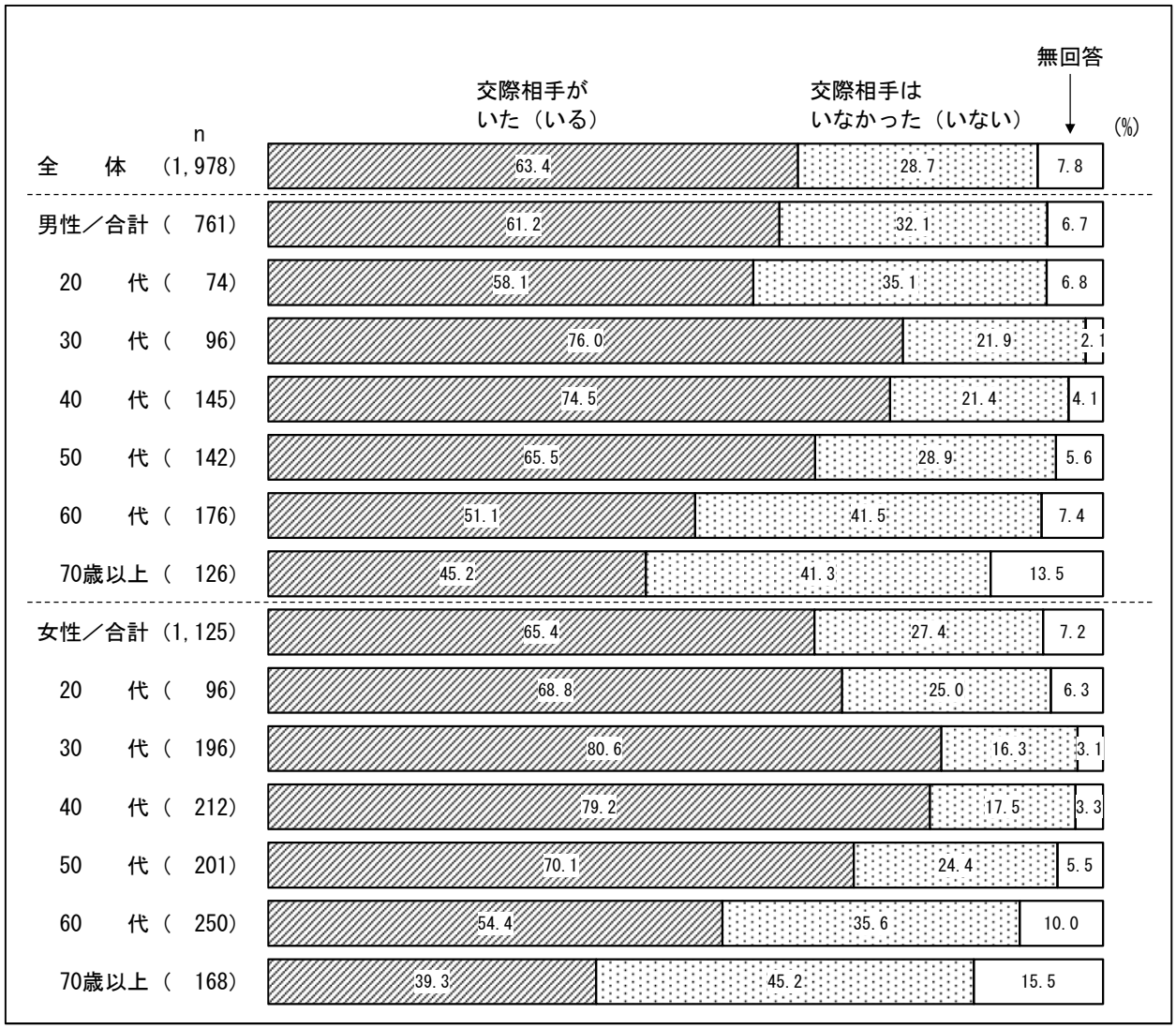
問 24　あなたには、その当時、交際相手がいましたか。結婚している方、結婚したことのある方については、後に配偶者となった相手以外についてお答えください。**(○は１つ)**



図表 2-5-37　10 代、20 代における交際相手の有無

○ 全体の傾向

10 代から 20 代における交際相手の有無では、「交際相手がいた（いる)」が 63.4%、「交際相手はいなかった（いない)」が 28.7%となっている。



図表 2-5-38　10 代、20 代における交際相手の有無（性・年代別）

○ 性・年代別の傾向

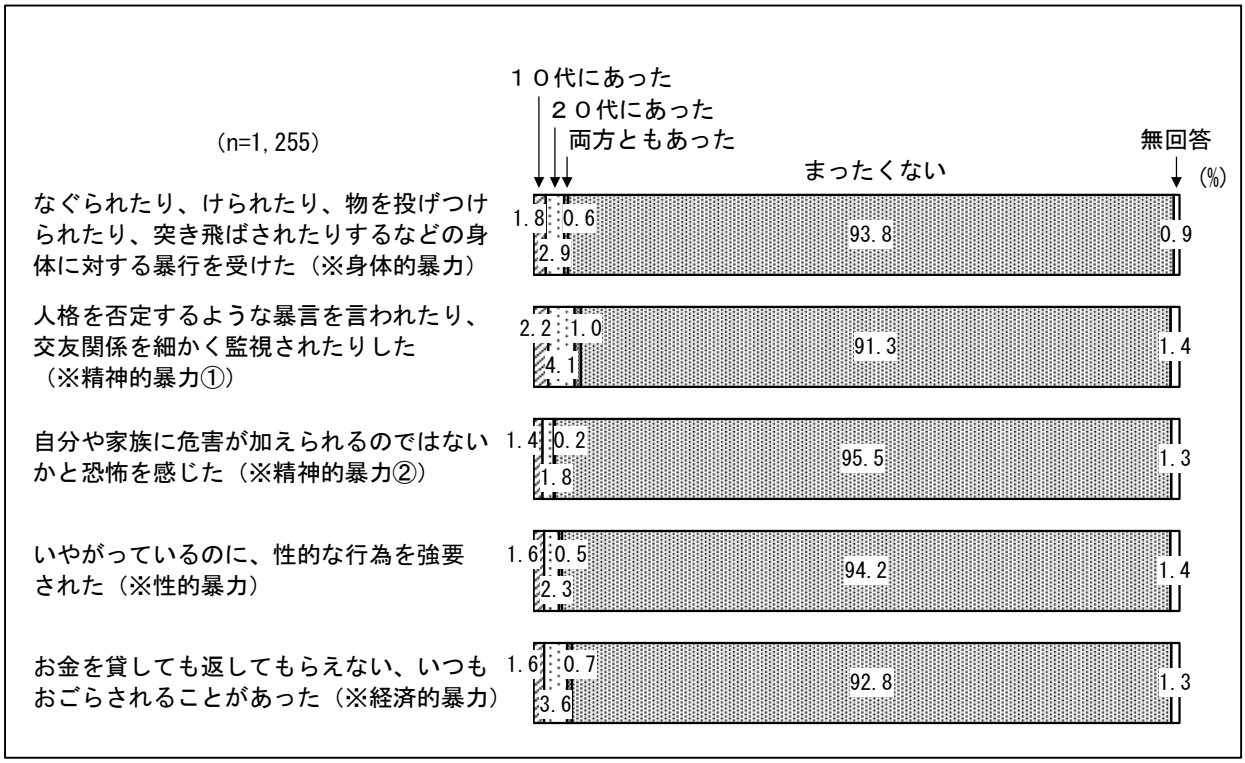
性・年代別でみると、「交際相手がいた（いる）」は女性（65.4%）が男性（61.2%）を約４ポイント上回っており、20 代では女性（68.8%）が男性（58.1%）より約 10 ポイント多くなっている。また、男女とも 30～40 代で「交際相手がいた（いる）」が約８割を占める一方、年代が上がるにつれ減少する傾向にあり、70 歳以上では半数を下回っている。

(18) 10 代、20 代中の交際相手から受けた行為

※問 24 で「１．交際相手がいた（いる）」と回答した方におうかがいします。

問 24－１　あなたは、10 代、20 代に、交際相手から次のような行為をされたことがありますか。

（ア～オのそれぞれについて、あてはまる「１～４」に○を１つ）

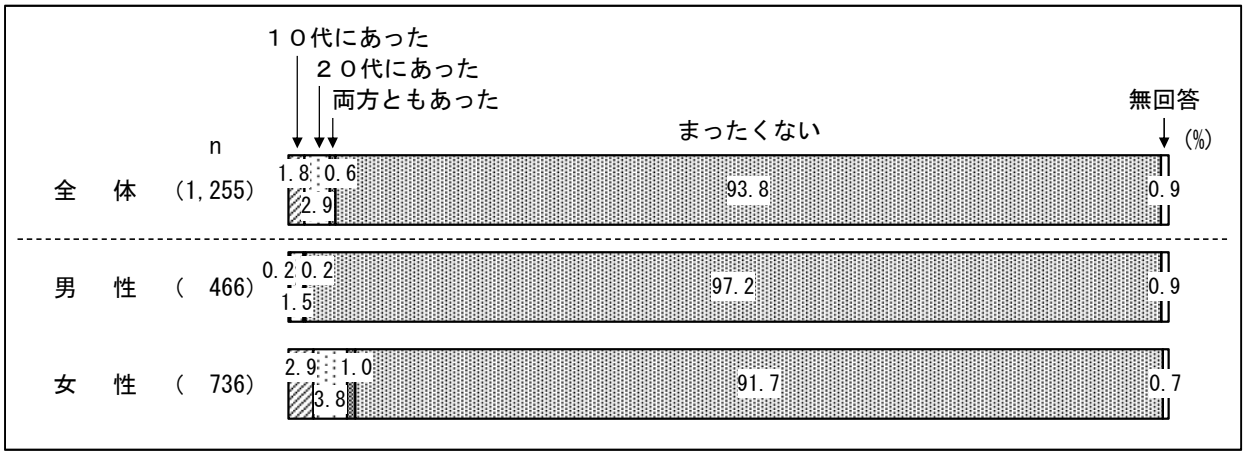


図表 2-5-39　10 代、20 代中の交際相手から受けた行為

○ 全体の傾向

５項目すべてで「まったくない」が９割を超えている。一方、精神的暴力①は「10 代にあった」(2.2%)、「20 代にあった」(4.1%)、「両方ともあった」(1.0%) が、いずれも５項目の中で最も多くなっている。

ア．身体的暴力

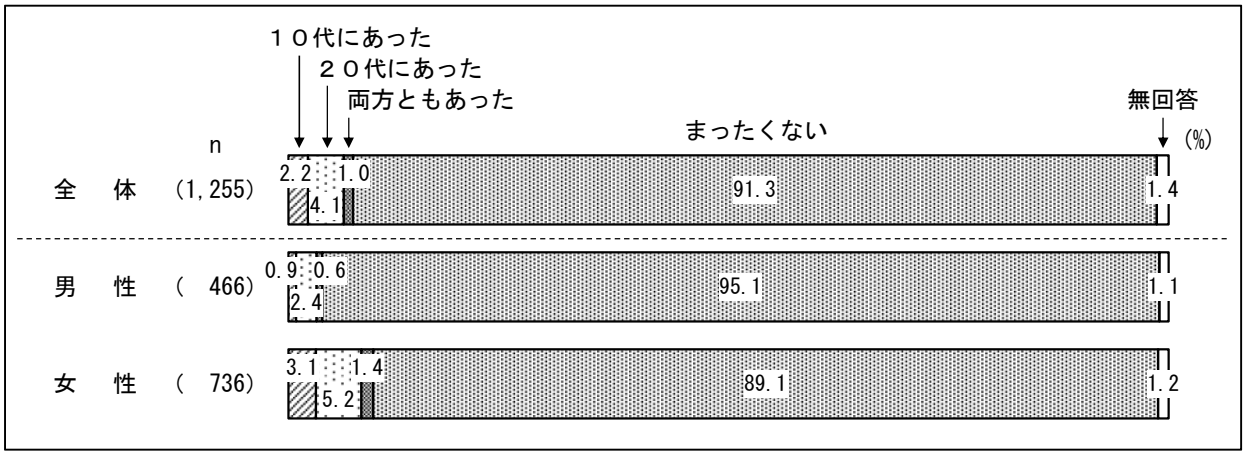


図表 2-5-40　交際相手からの「身体的暴力」の経験（性別）

○ 性別の傾向

性別でみると、男女とも「まったくない」が９割を超えている。一方、「10 代にあった」、「20 代にあった」、「両方ともあった」は、いずれも女性の方がやや多くなっている。

イ．精神的暴力①

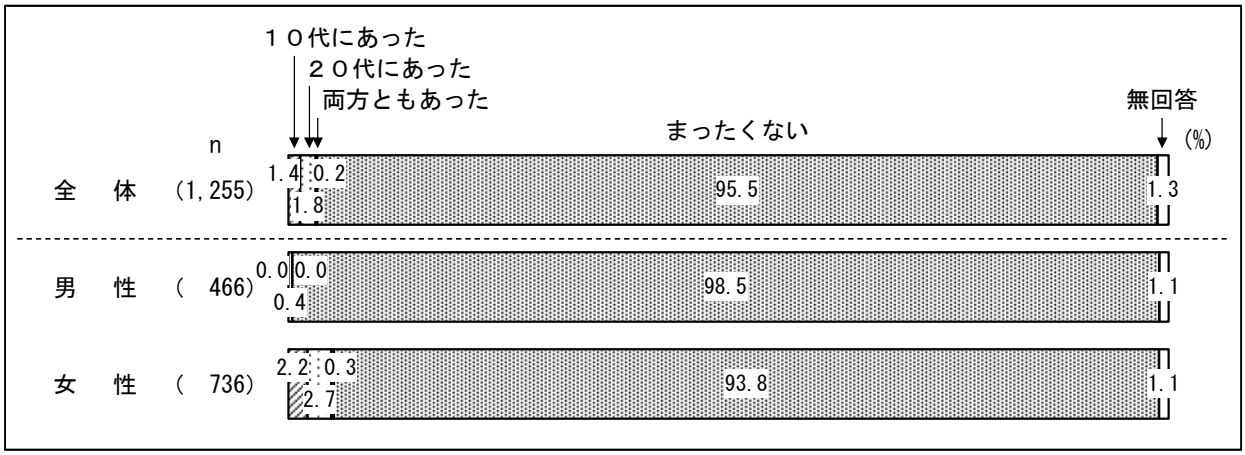


図表 2-5-41　交際相手からの「精神的暴力①」の経験（性別）

○ 性別の傾向

性別でみると、「まったくない」は、男性が９割を超えているのに対し、女性は８割台となっている。一方、「10 代にあった」、「20 代にあった」、「両方ともあった」は、いずれも女性の方がやや多くなっている。

ウ．精神的暴力②

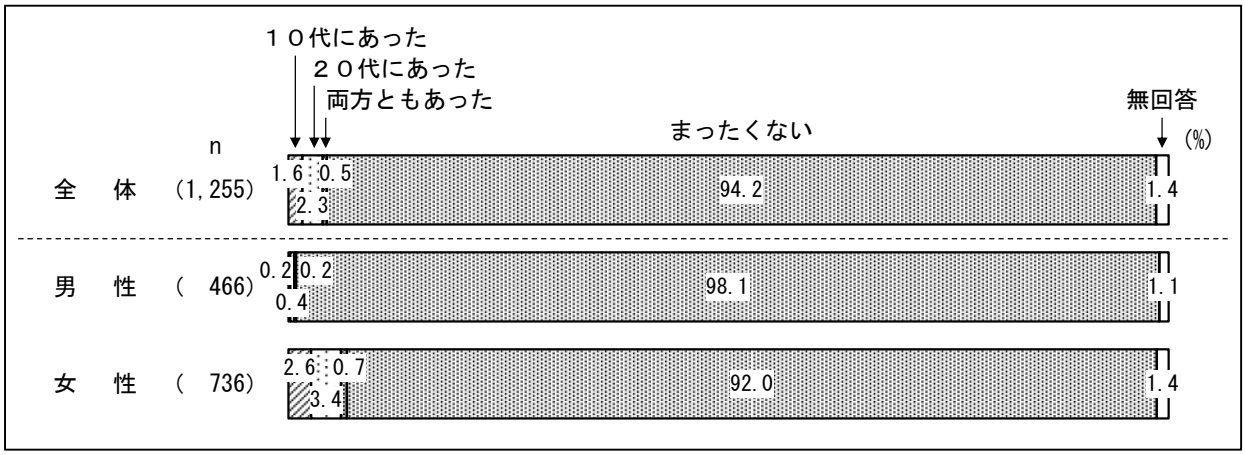


図表 2-5-42　交際相手からの「精神的暴力②」の経験（性別）

○ 性別の傾向

性別でみると、男女とも「まったくない」が９割を超えている。一方、「10 代にあった」、「20 代にあった」、「両方ともあった」は、いずれも女性の方がやや多くなっている。

エ．性的暴力

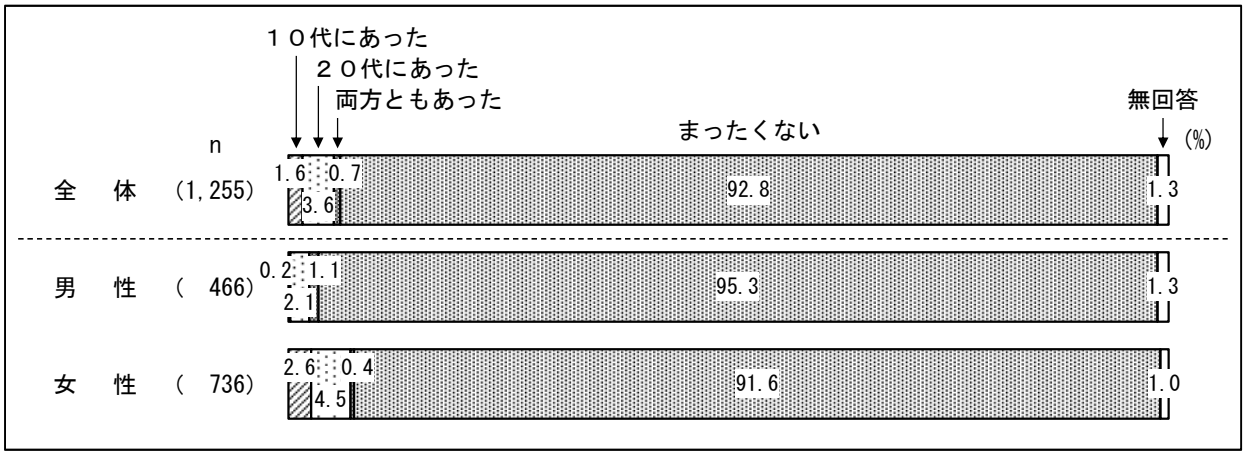


図表 2-5-43　交際相手からの「性的暴力」の経験（性別）

○ 性別の傾向

性別でみると、男性は「まったくない」(98.1%) が 100%に近く、女性を約６ポイント上回っている。一方、「10 代にあった」、「20 代にあった」、「両方ともあった」は、いずれも女性の方がやや多くなっている。

オ．経済的暴力



図表 2-5-44　交際相手からの「経済的暴力」の経験（性別）

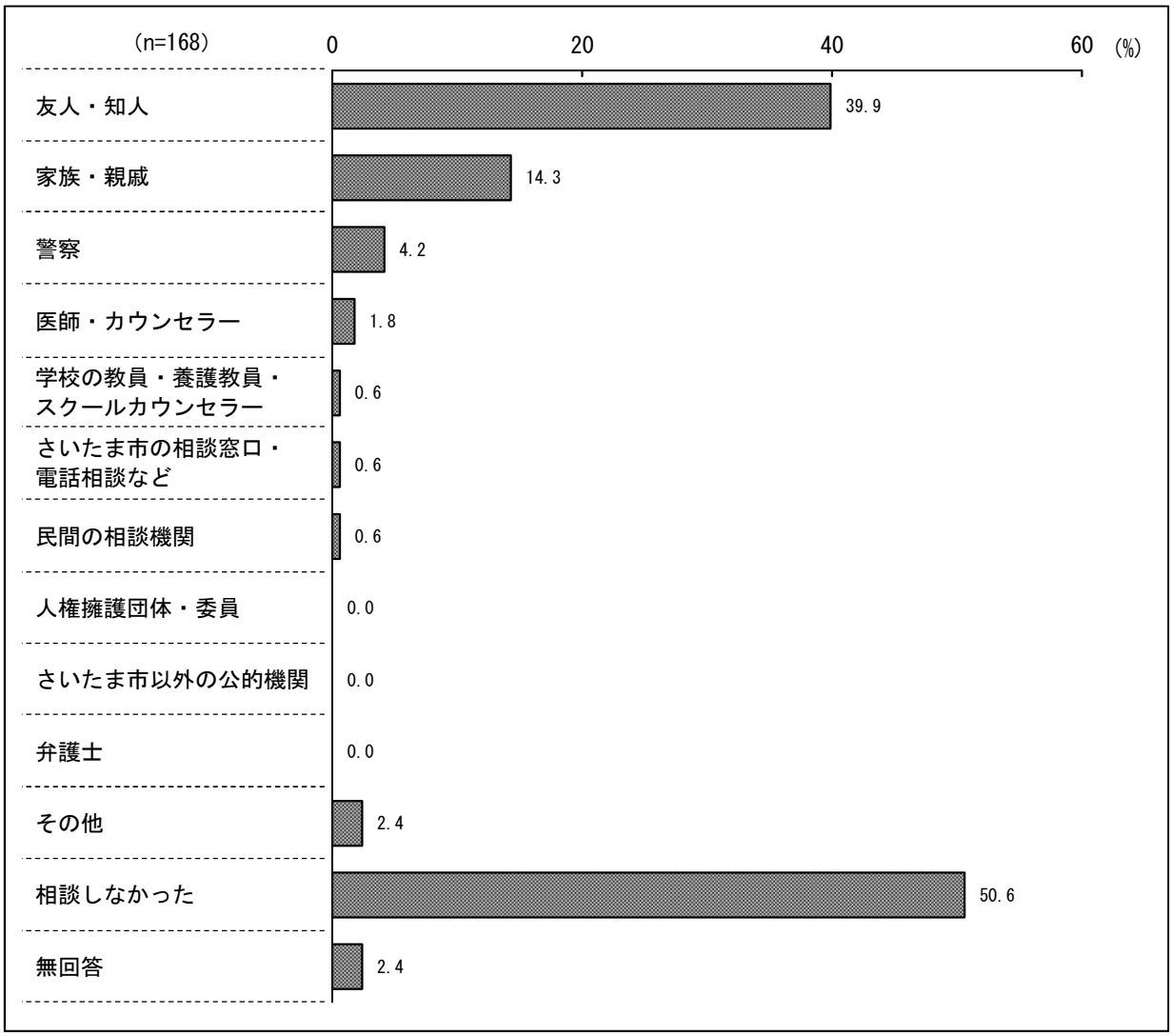
○ 性別の傾向

性別でみると、男女とも「まったくない」が９割を超えている。一方、「10 代にあった」、「20 代にあった」は女性の方が、「両方ともあった」は男性の方が、やや多くなっている。

（19）10 代、20 代中の交際相手から受けた行為に関して相談した相手（場所）

※問 24－１で「10 代にあった」「20 代にあった」「両方ともあった」と回答した方におうかがいします。

問 24－２　あなたは誰か（どこか）に相談しましたか。**（○はいくつでも）**



図表 2-5-45　10 代、20 代中の交際相手から受けた行為に関して相談した相手（場所）

○ 全体の傾向

誰か（どこか）に相談した経験は、「相談しなかった」（50.6%）が過半数を占めている。相談先は「友人・知人」（39.9%）が最も多く、次いで「家族・親戚」（14.3%）、「警察」（4.2%）などの順となっている。